

# 若手会員の現状と支援のための意識調査

目的: 日本肝胆膵外科学会若手会員の現状を把握し, Next Generation Project (NGP)委員会の活動基盤を作る.

施行: NGP委員会委員により企画・立案された.

対象: 45歳以下の会員1735名(2021年12月31日現在)

回答率: 303名(17.4%)

調査方法: メール配信による無記名回答

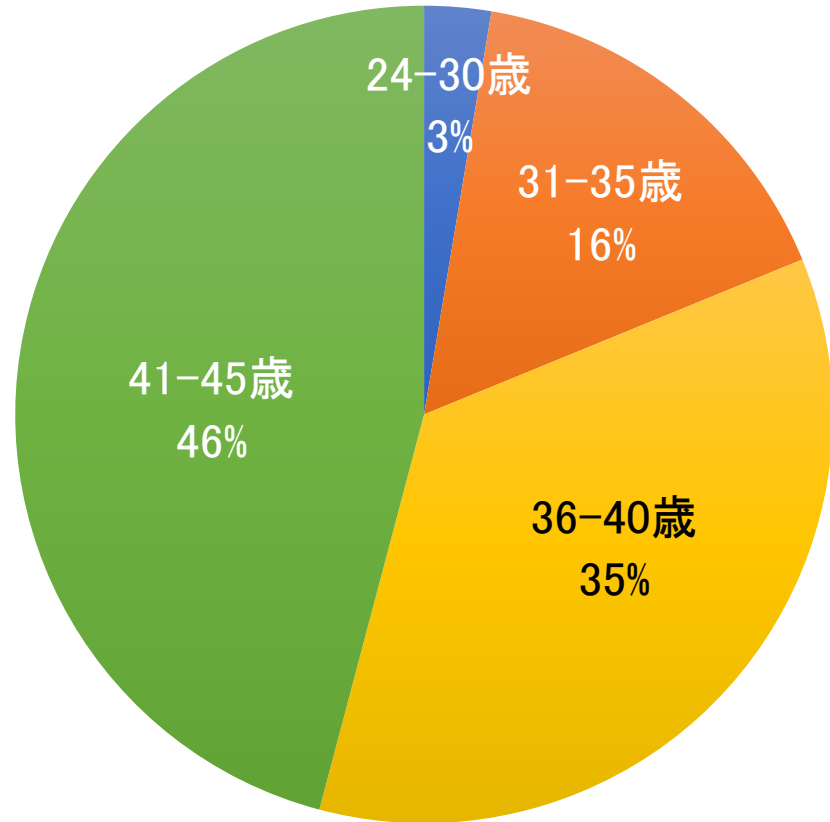
調査期間: 2022年12月24日~1月31日

調査項目: 会員の属性, 肝胆膵外科高度技能専門医について, 研究留学について, 肝胆膵外科医リクルートについて, 働き方改革・ダイバーシティについて, その他.

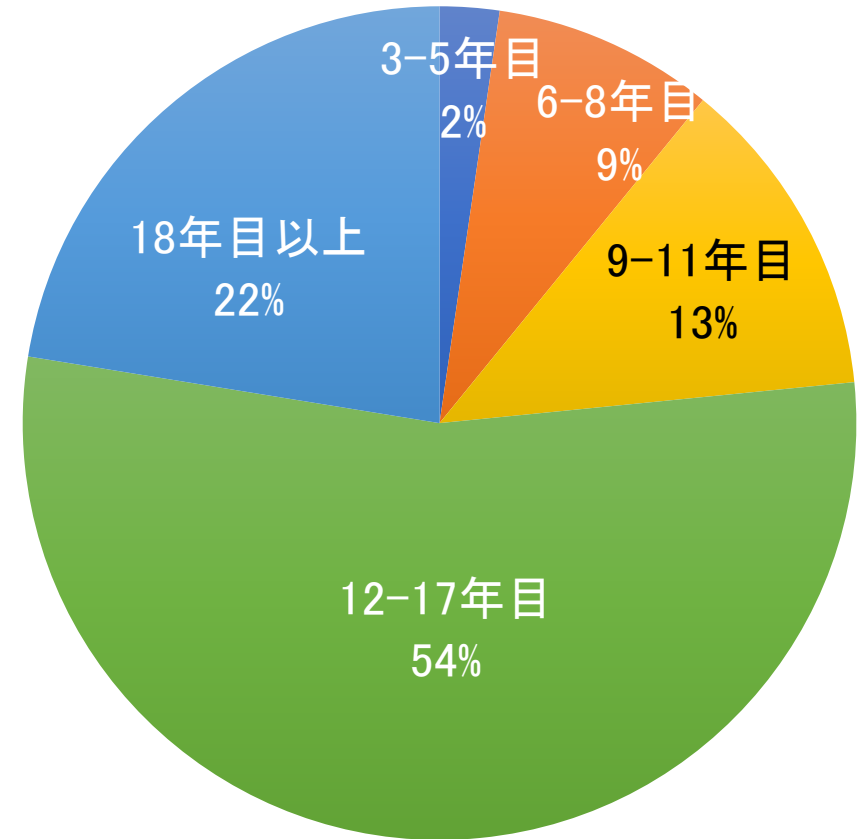
日本肝胆膵外科学会 将来検討委員会		
《Next Generation Project (NGP) Working Group》		
	氏名(敬称略)	所属
WG長	楊 知明	京都大学 肝胆膵・移植外科
副WG長	小齊 侑希子	九州大学 消化器・総合外科
副WG長	原 貴信	長崎大学 移植・消化器外科
	石井 範洋	群馬大学 肝胆膵外科
	梅澤 早織	聖マリアンナ医科大学 消化器・一般外科
	冲永 裕子	都立駒込病院 肝胆膵外科
	前川 彩	東京医科歯科大学 肝胆膵外科
	松尾 泰子	奈良県立医科大学消化器・総合外科

## A. アンケート対象集団の調査

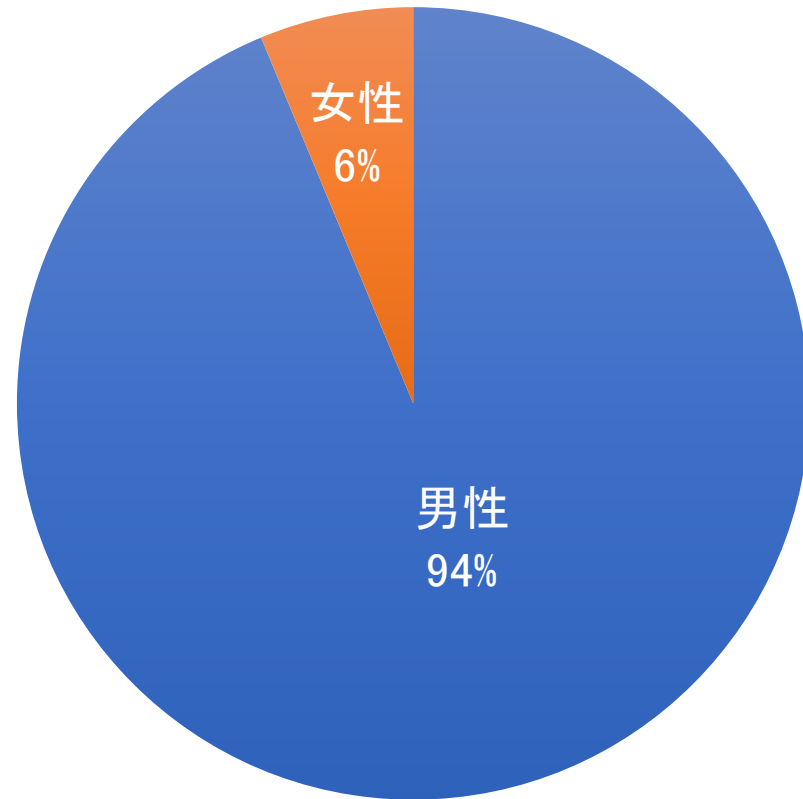
## 1. 年齢



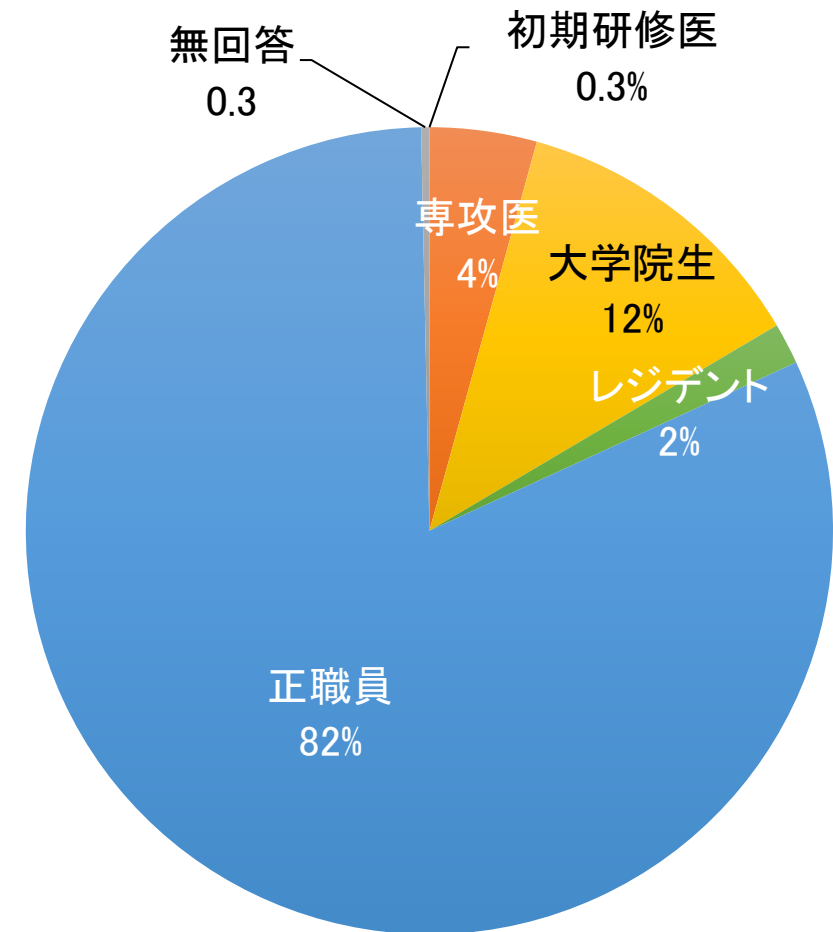
## 2. 医師経験年数について



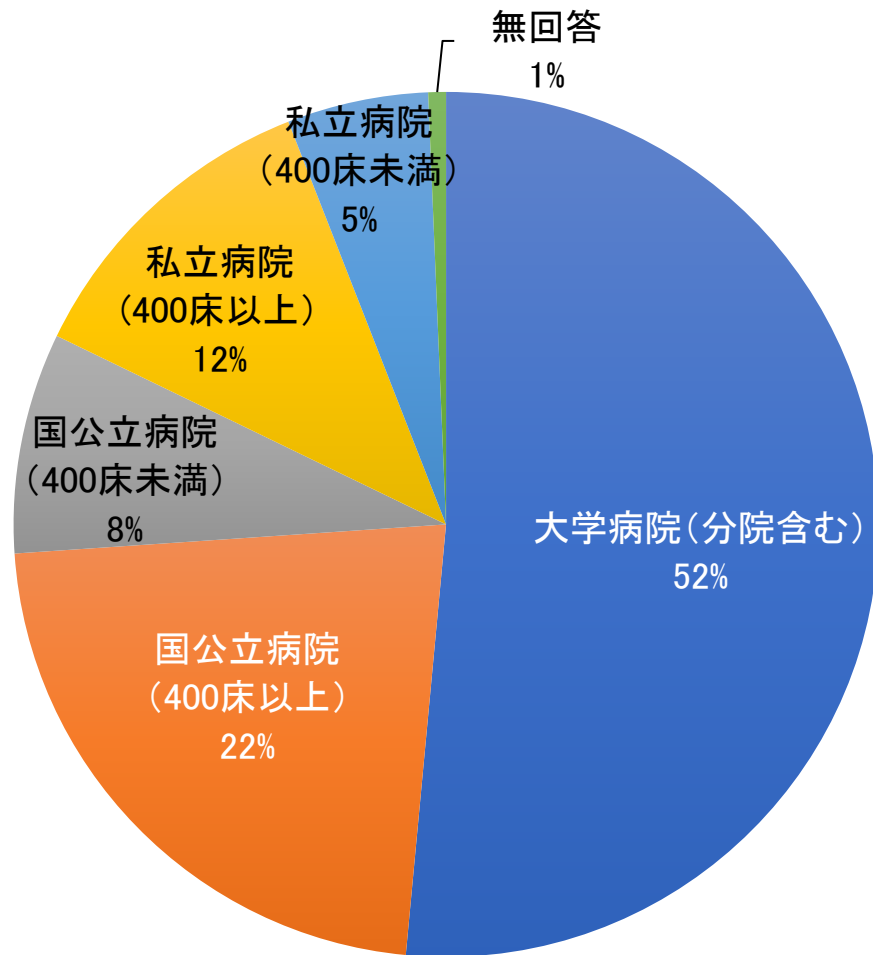
### 3. 性別について



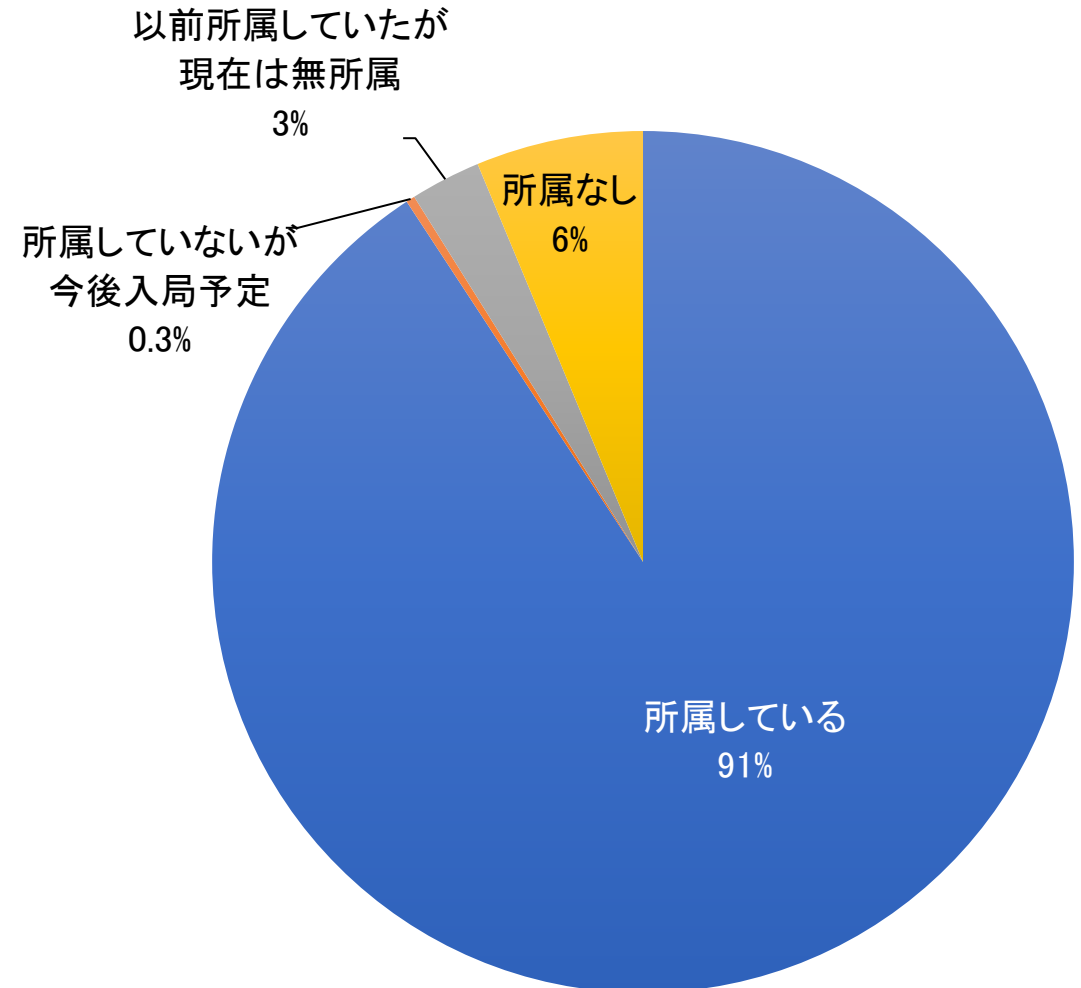
### 4. 現在の主なポジションについて



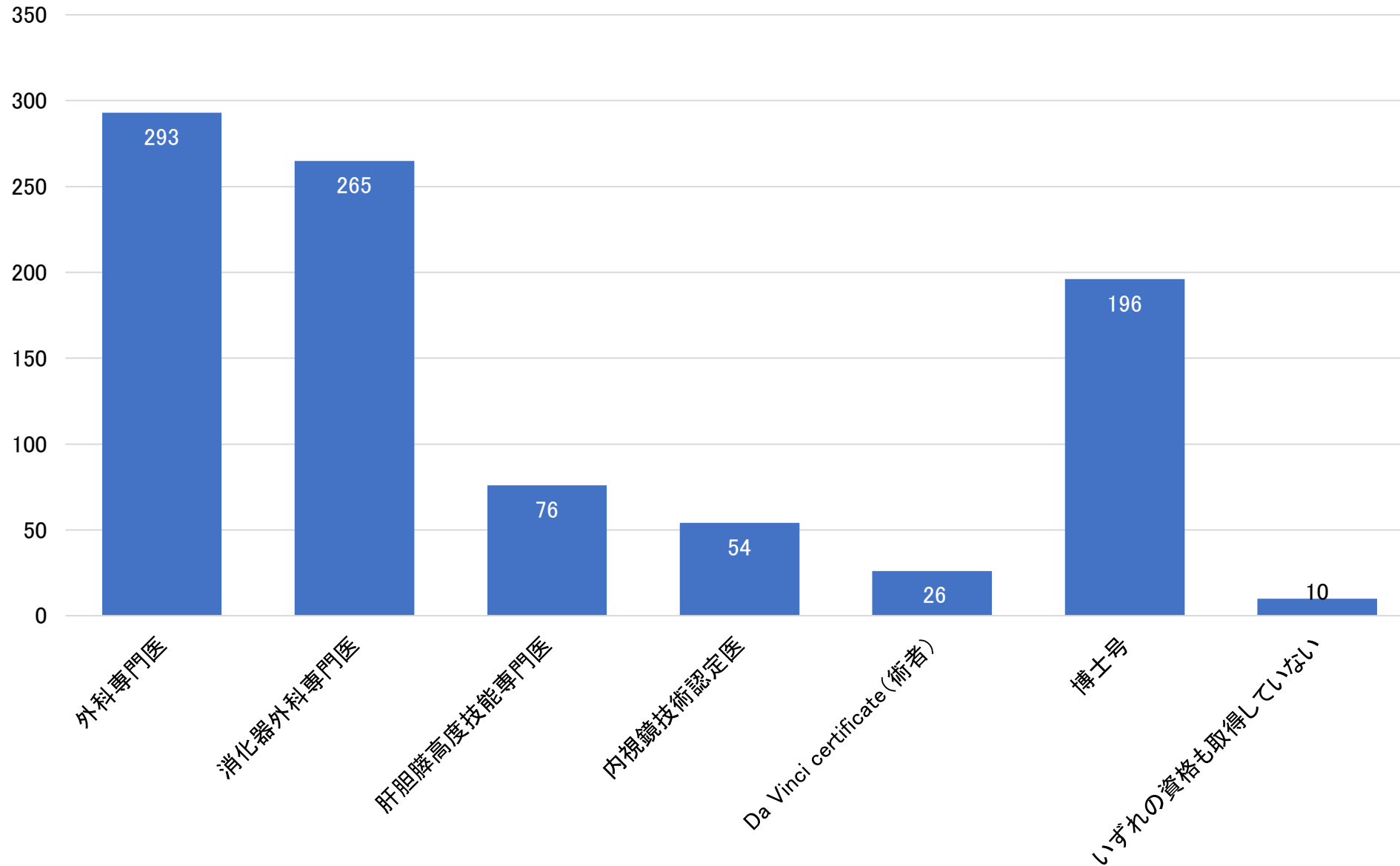
## 5. 現在の勤務施設について



## 6. 大学医局への所属状況



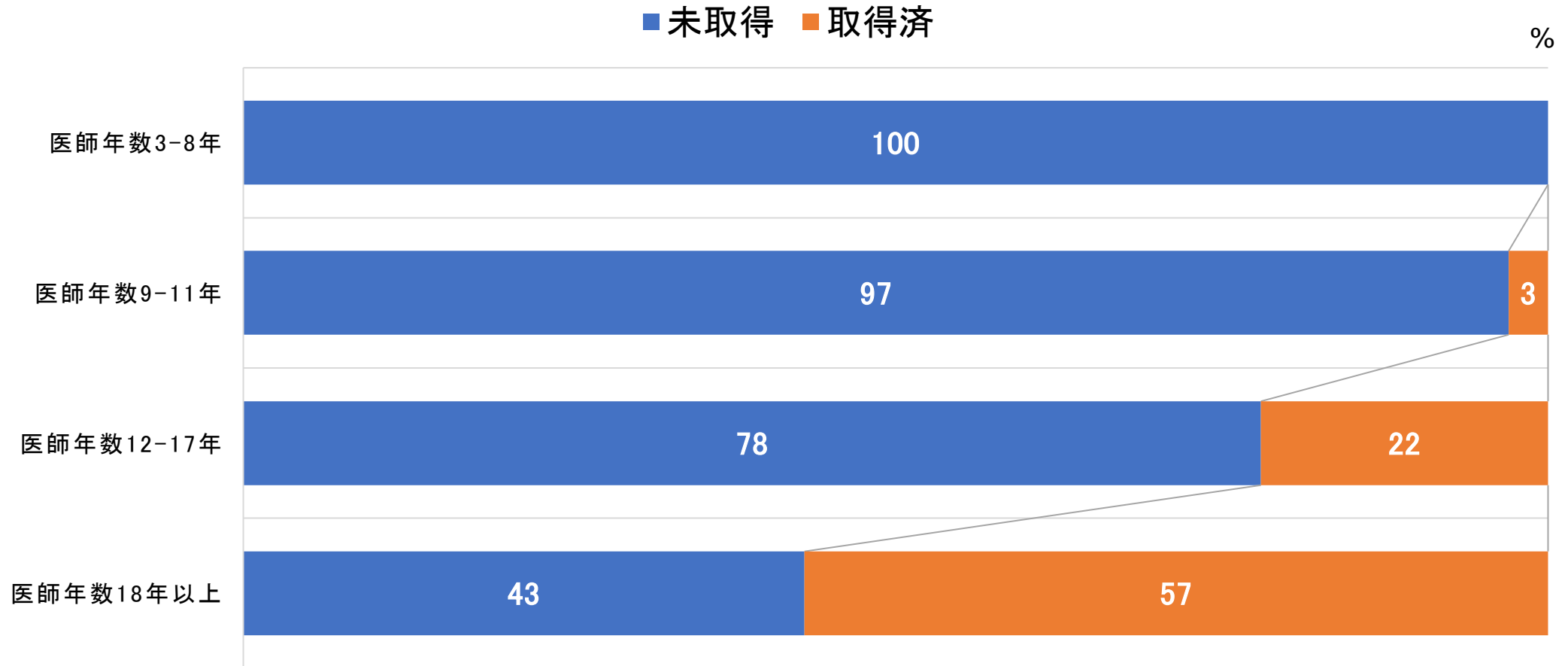
## 7-1. 現時点で取得済の資格(複数回答可)



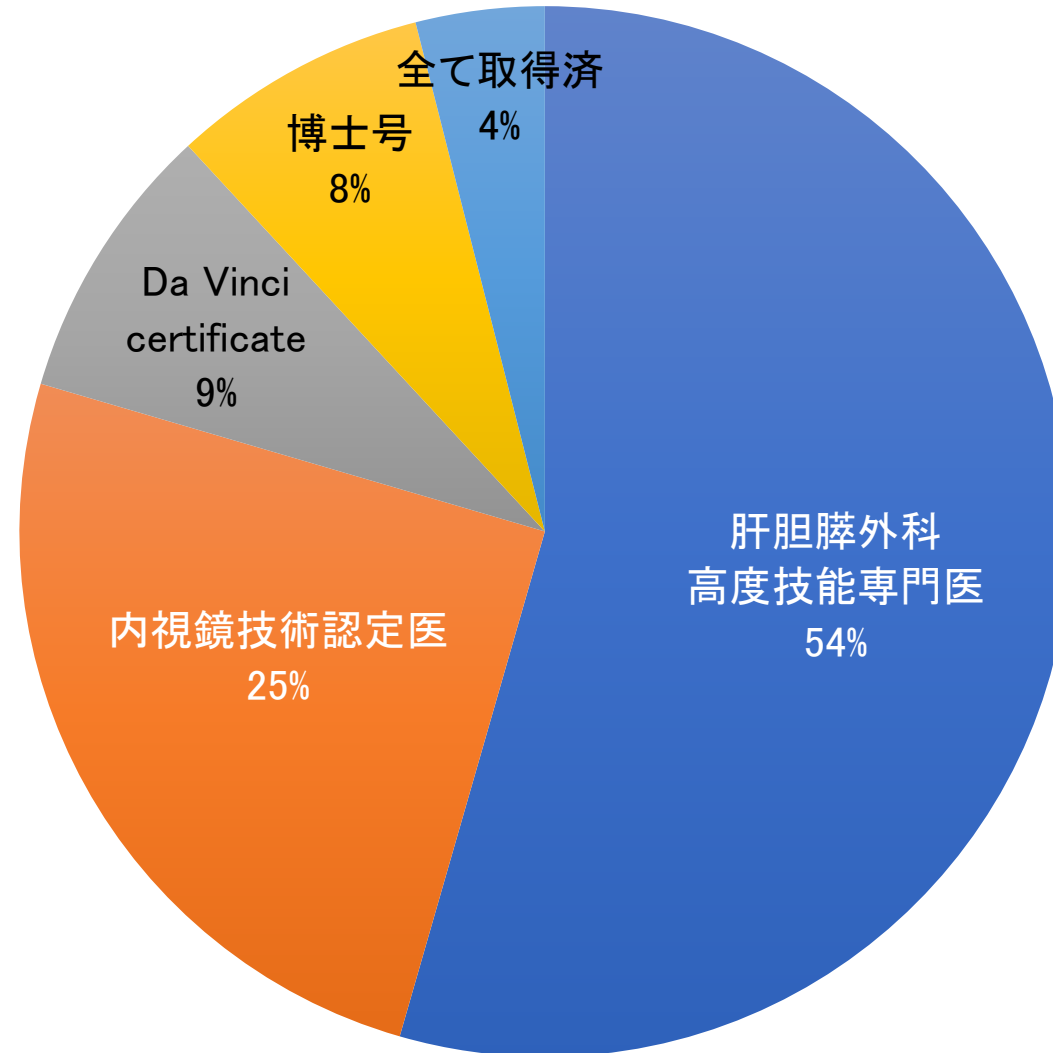
全て取得済:12名

## 7-2. 現時点で取得済の資格(複数回答可)

### \* 医師年数別, 高度技能専門医取得割合



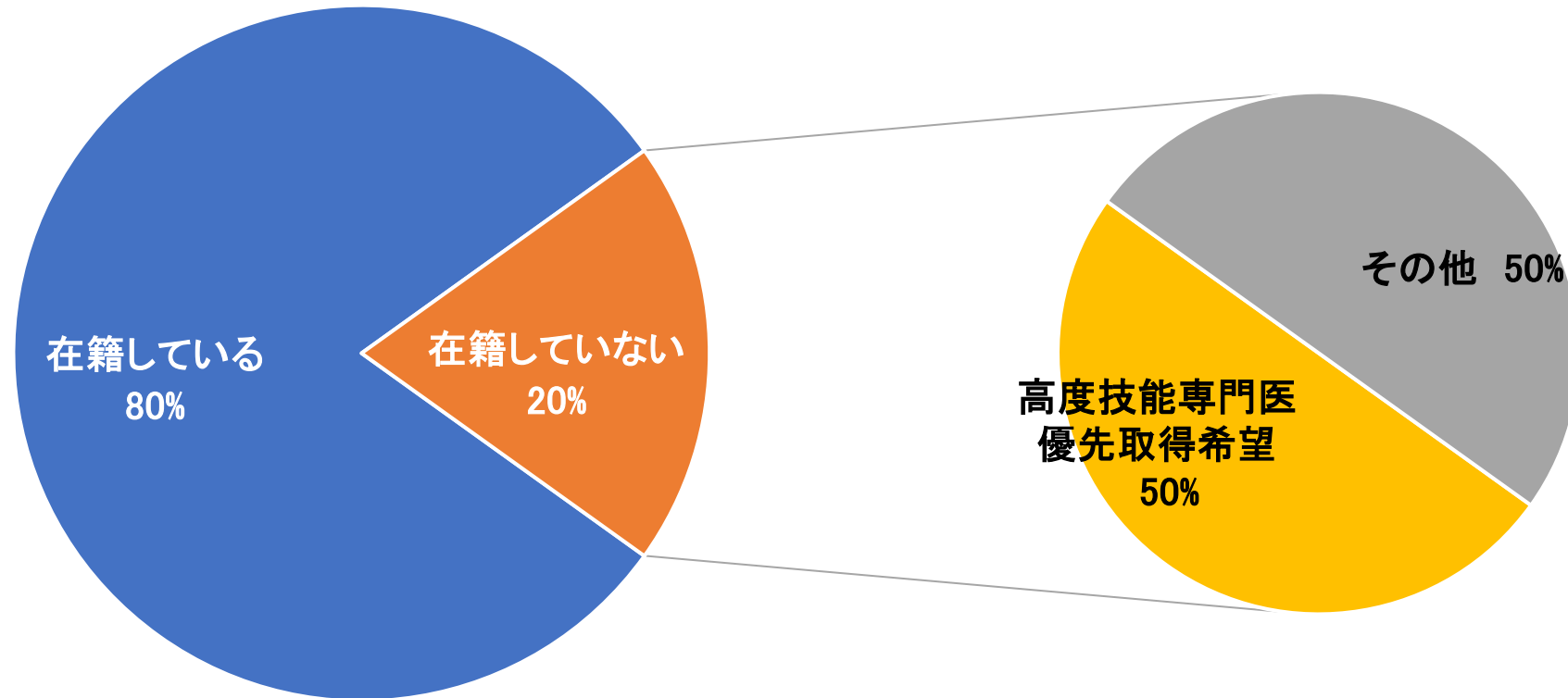
## 8. 取得を優先したい資格について





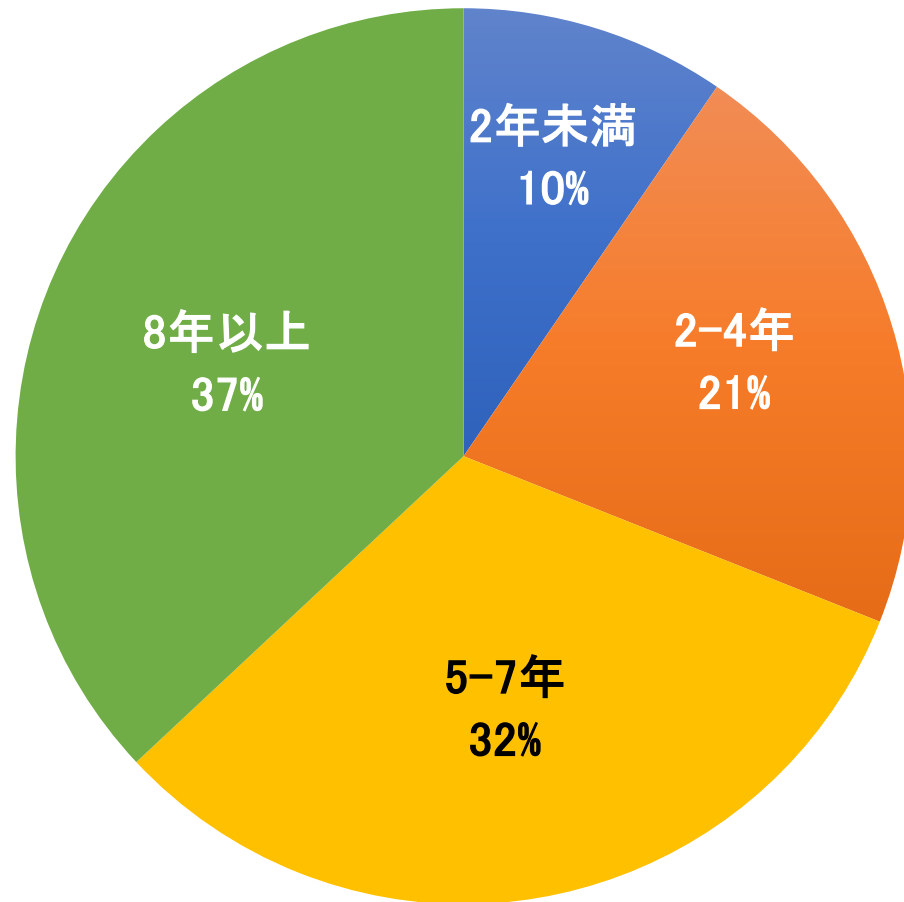
## **B. 肝胆膵高度技能専門医に関する調査**

# 1. 現在、肝胆膵高度技能修練施設に在籍しているか？



肝胆膵高度技能施設に在籍していない医師の半数に、高度技能専門医を優先取得したいと考えている医師がいる。

## 2. 肝胆膵高度技能修練施設への総在籍期間

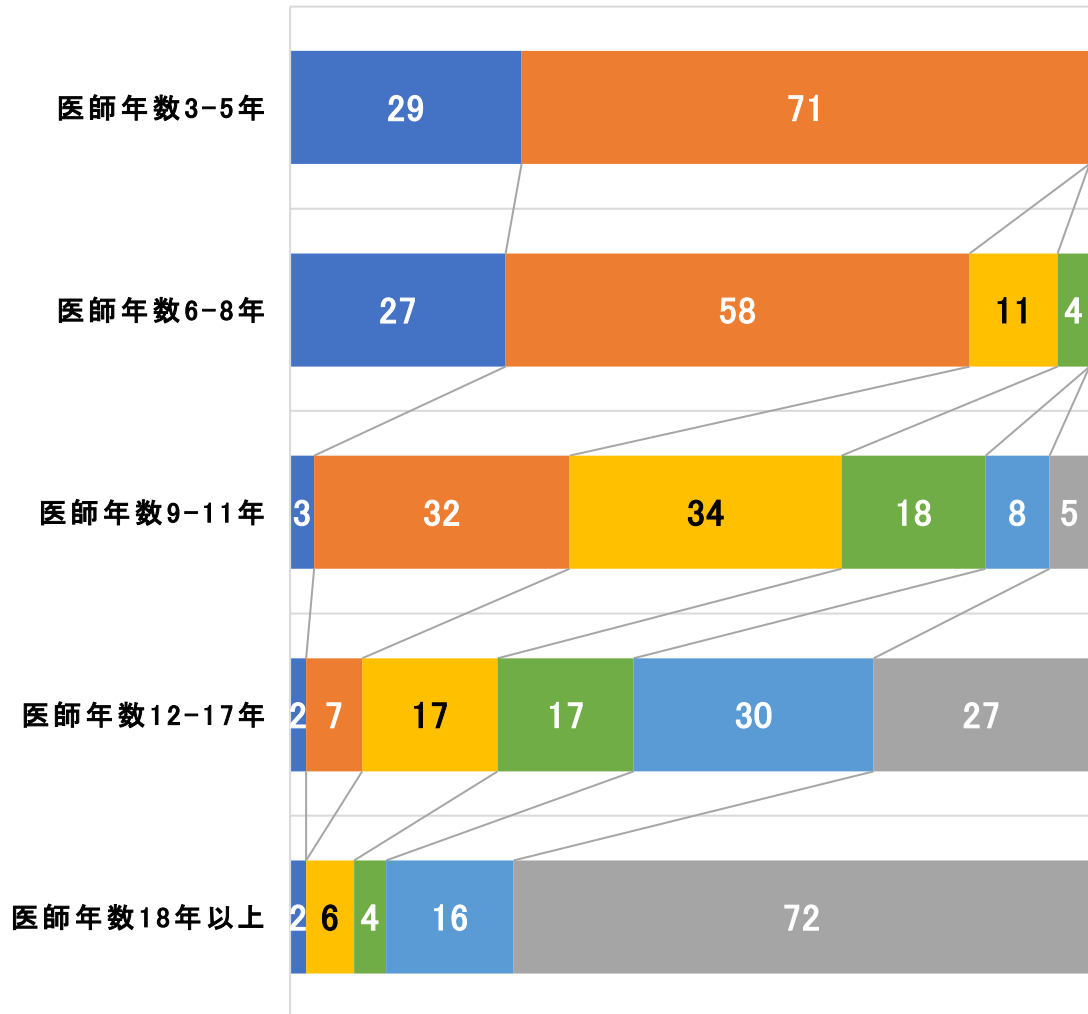


アンケート回答者の多くは5年以上の在籍期間がある医師

### 3. 肝胆膵高度技能手術執刀件数・総数(医師年数別)

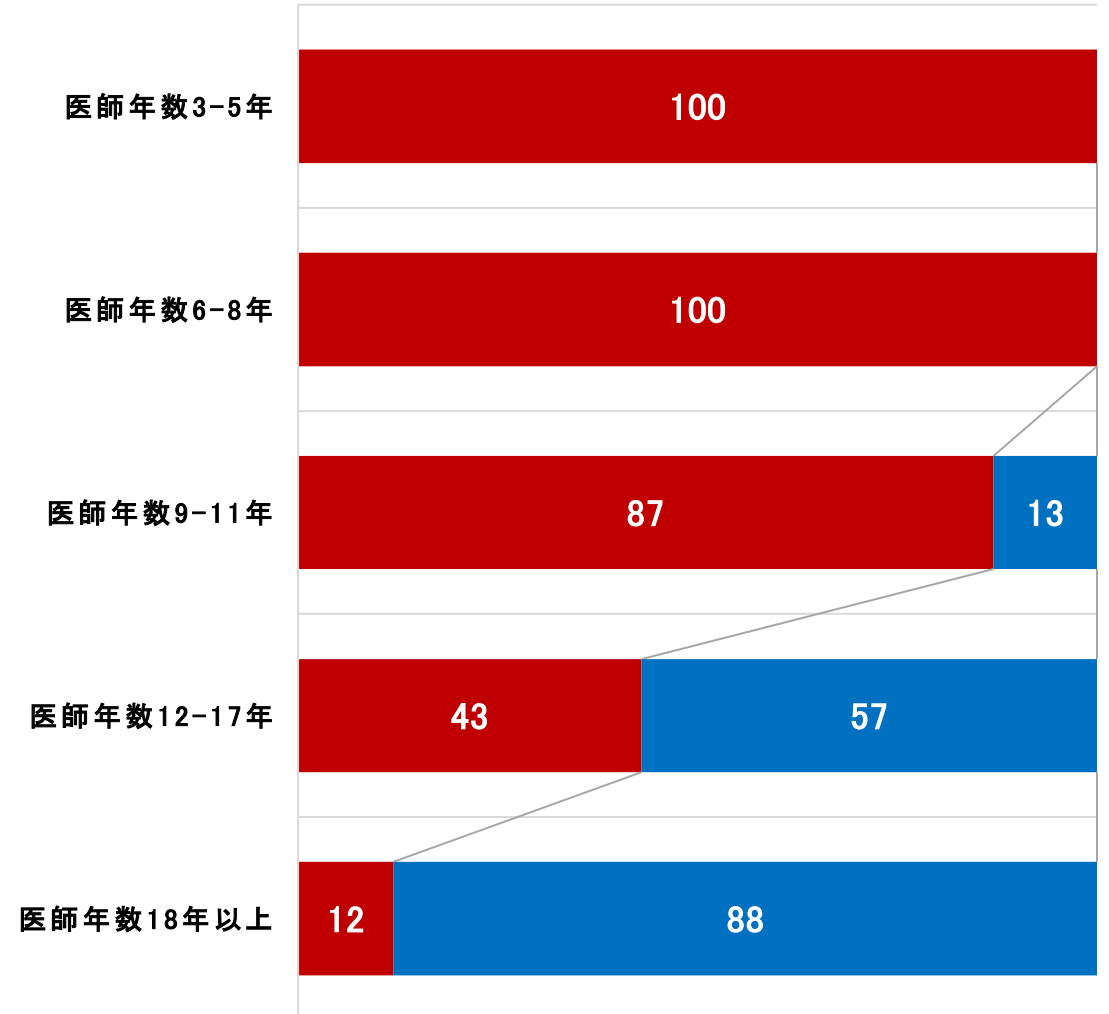
医師年数別の経験症例数の内訳

■なし ■1-9例 ■10-29例 ■30-49例 ■50-74例 ■75例以上 %



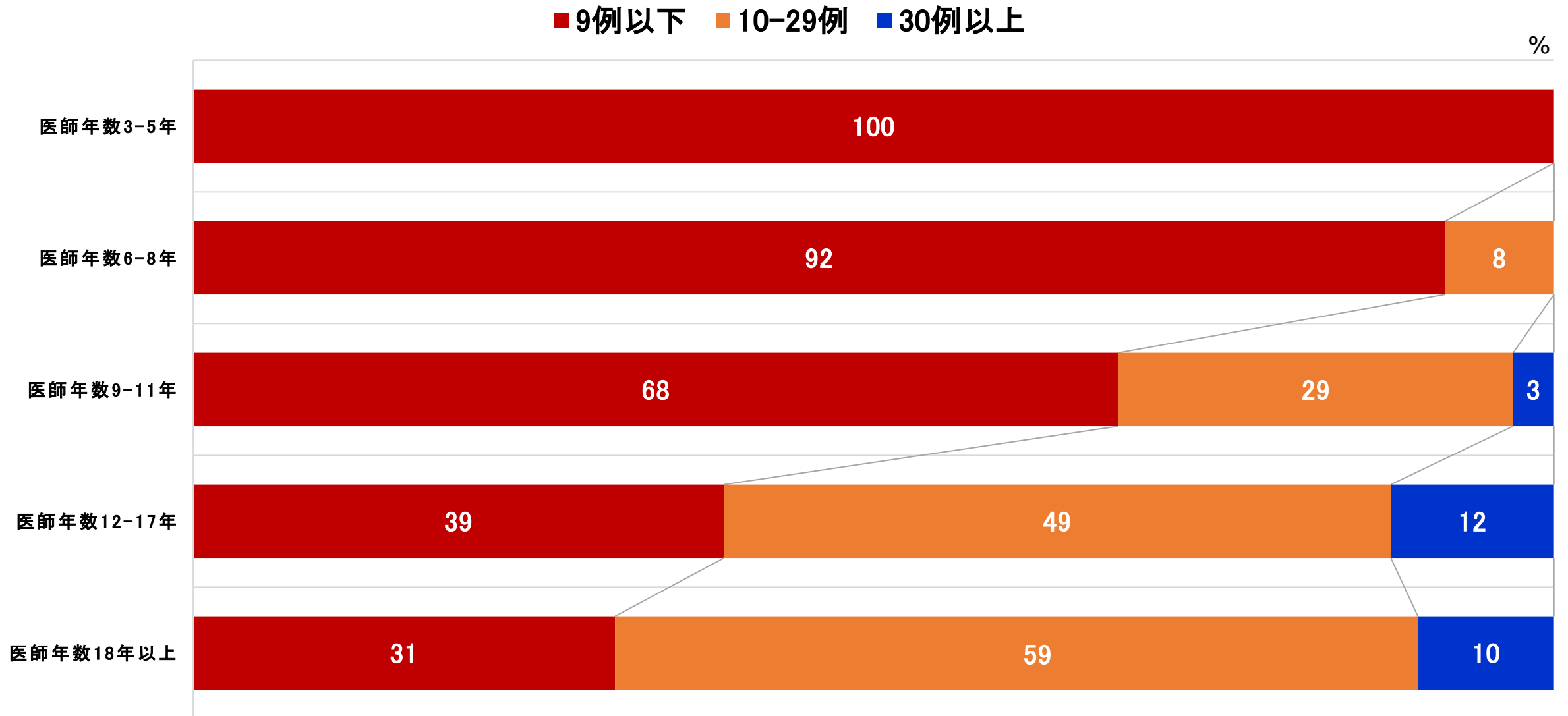
医師年数別の経験症例50例未満の割合

■0-49例 ■50例以上 %



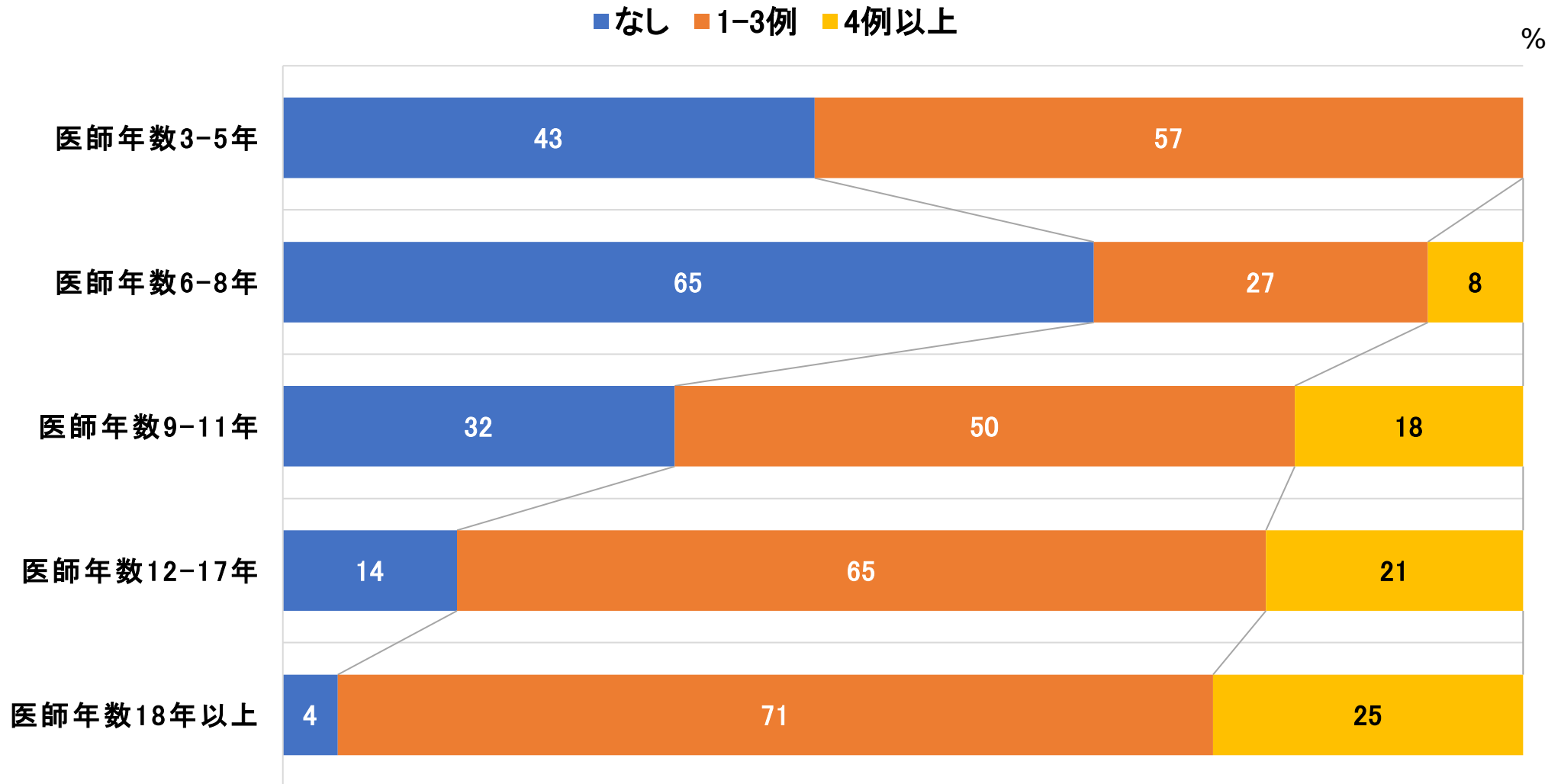
年代が上がるほど高難度手術経験数は増加しているが、医師年数12-17年で43%、18年以上でも12%は高難度手術経験数50例に満たない。

## 4. 2021年の肝胆膵高難度手術執刀件数（医師年数別）



年代が上がるほど年間の高難度手術経験数は増加しているが、1年間の経験症例数が9例以下の医師の割合が医師年数9-11年で68%、12-17年では39%、18年以上でも31%存在する。

## 5. 1か月あたりの平均肝胆膵手術執刀件数(胆嚢摘出を除く)



10年目前後から月当たりの症例経験数が増加している印象

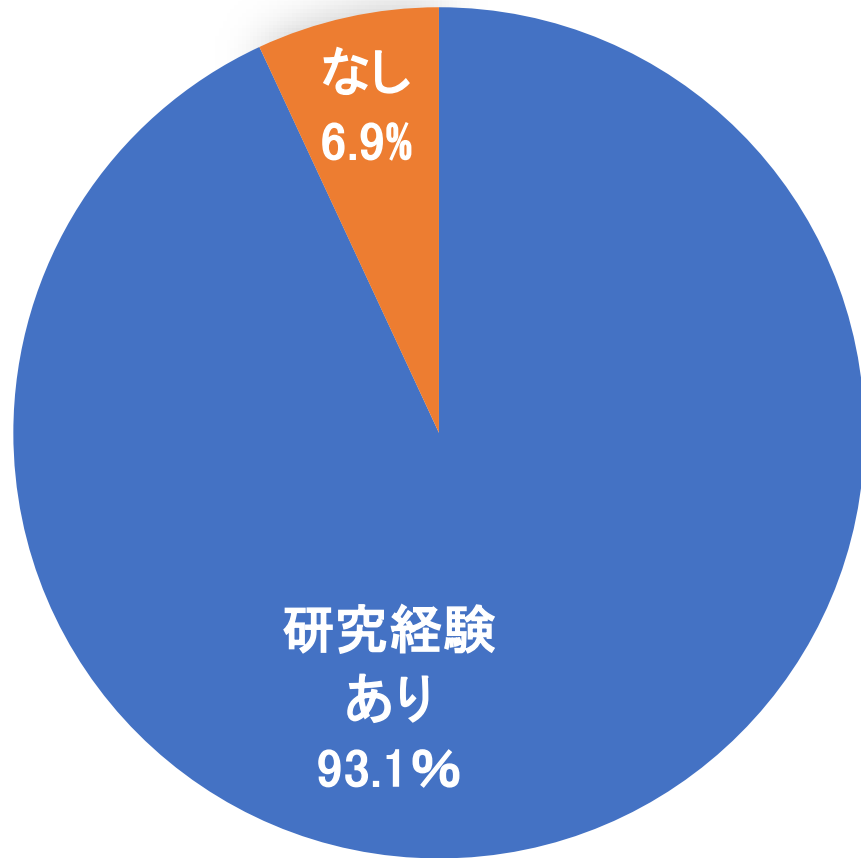
## 6. 肝胆膵高度技能専門医に関する日本肝胆膵外科学会への要望 (主なものを抜粋)

- インセンティブの確立
- 専門医の意義に関する説明と周知
- 審査基準の明確化・透明化
- 専門医制度がもたらす、若手育成への弊害に関する対策
- 専門医取得へ向けた講習会やセミナーの開催 / 合格ビデオのHPへの掲載など
- 認定施設以外での経験症例のカウントの認可 / 必要経験症例数の緩和

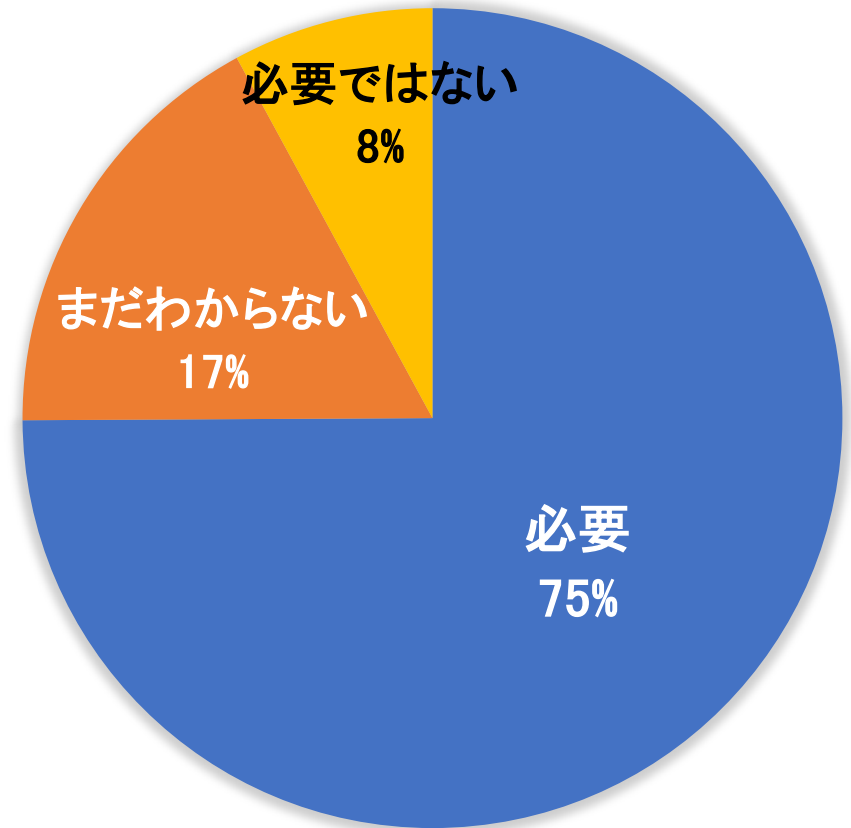
## C. 研究留学に関する調査



## 1. 研究経験の有無について

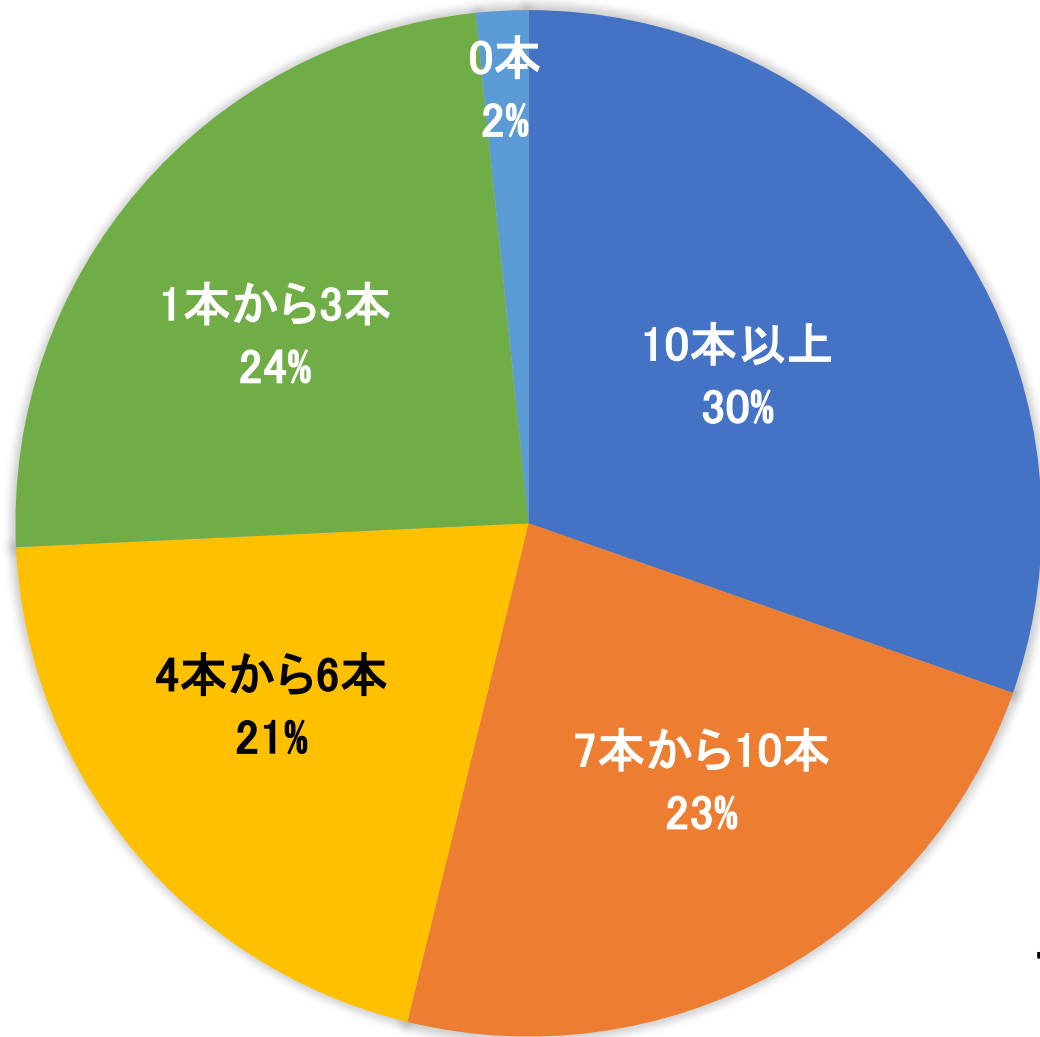


## 2. 研究のキャリア形成への必要性



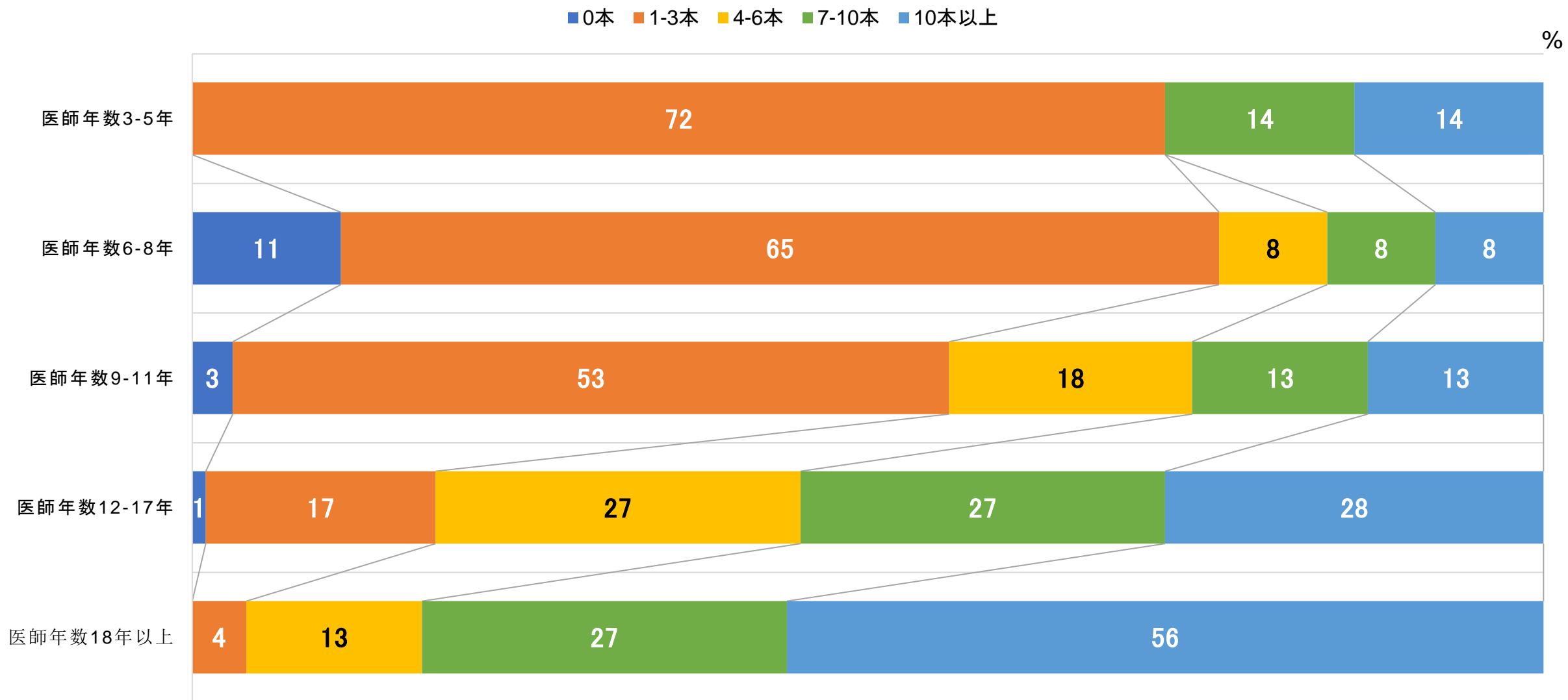
回答者の93%が何らかの研究経験があり, 75%がキャリア形成にも研究は必要と考えている.

### 3-1. 筆頭著者としての論文執筆数(和文/英文問わず)を教えてください

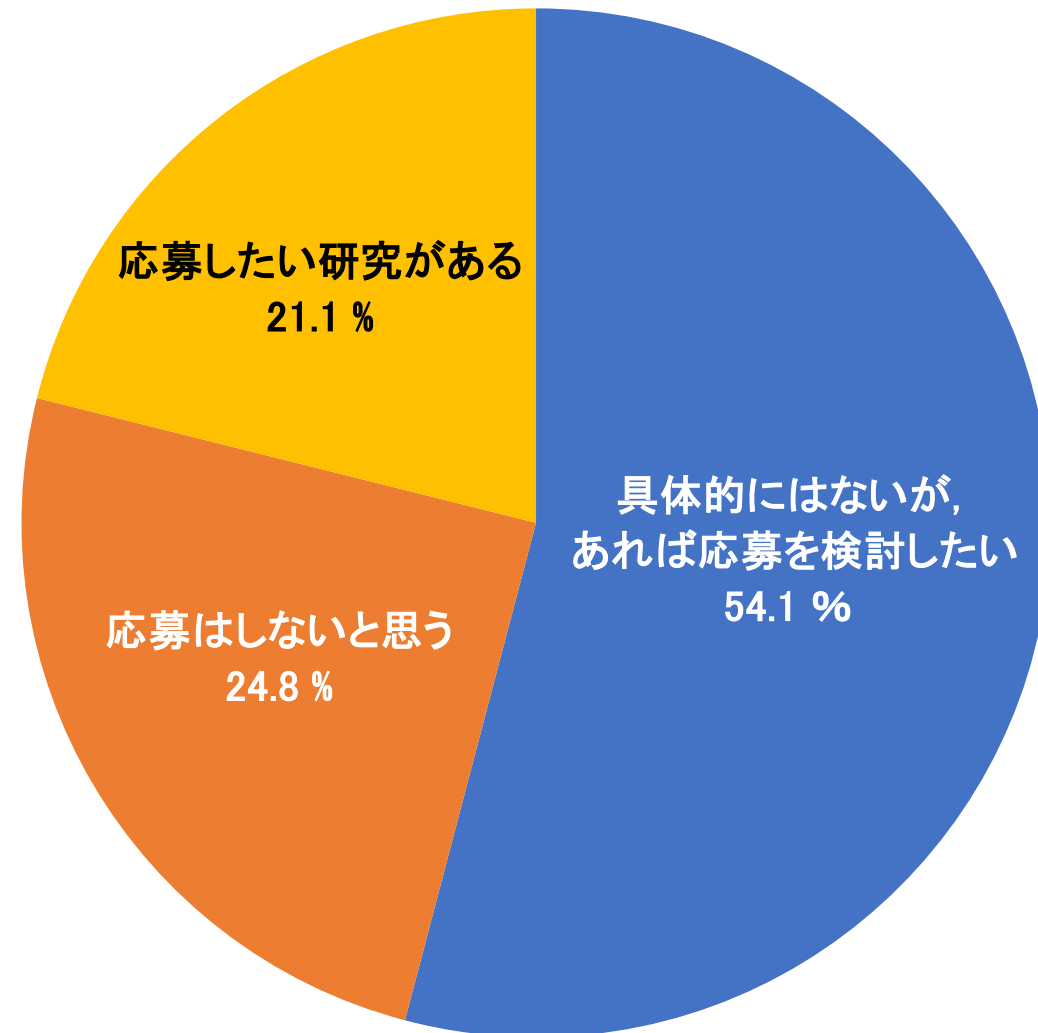


半数以上が7本以上論文を執筆している。

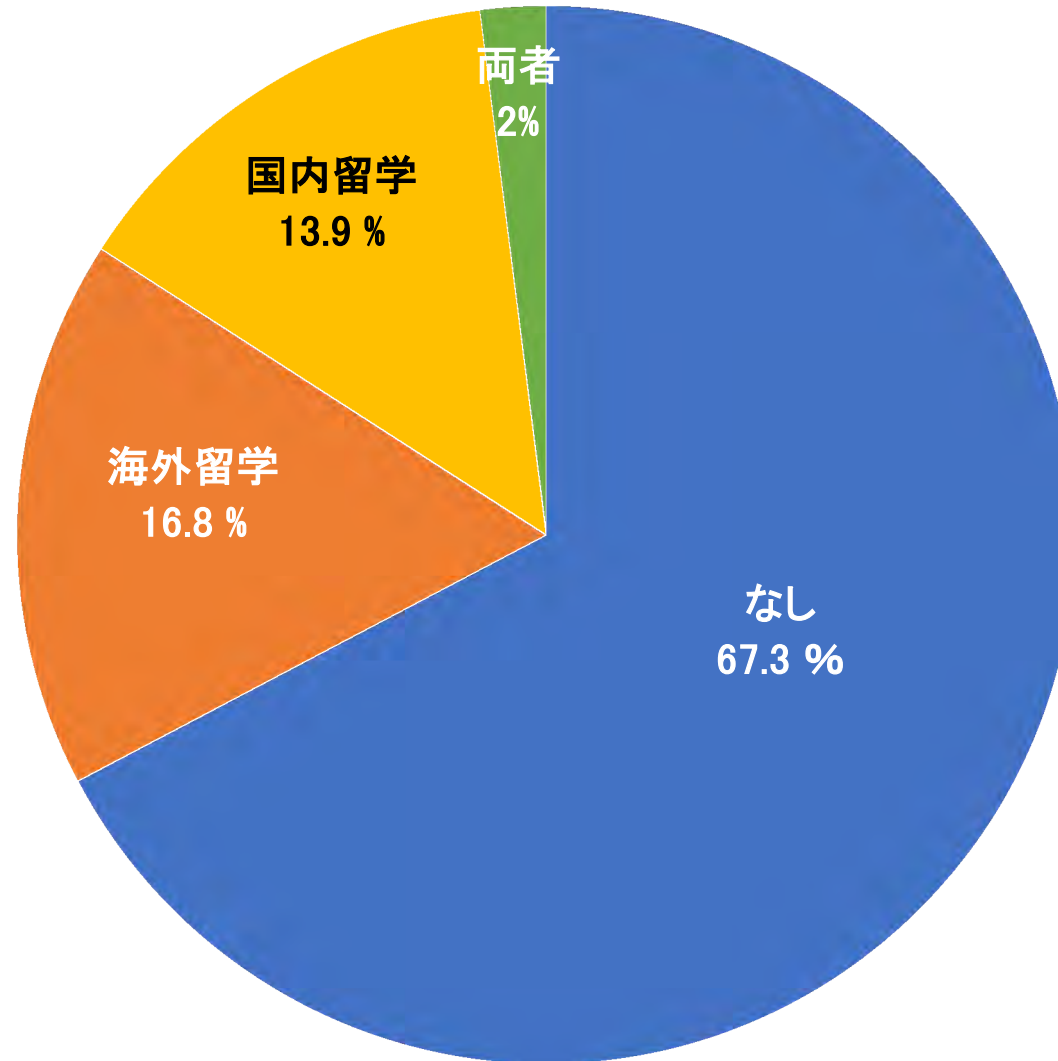
## 3-2. 筆頭著者としての論文執筆数(和文/英文問わず)を教えてください



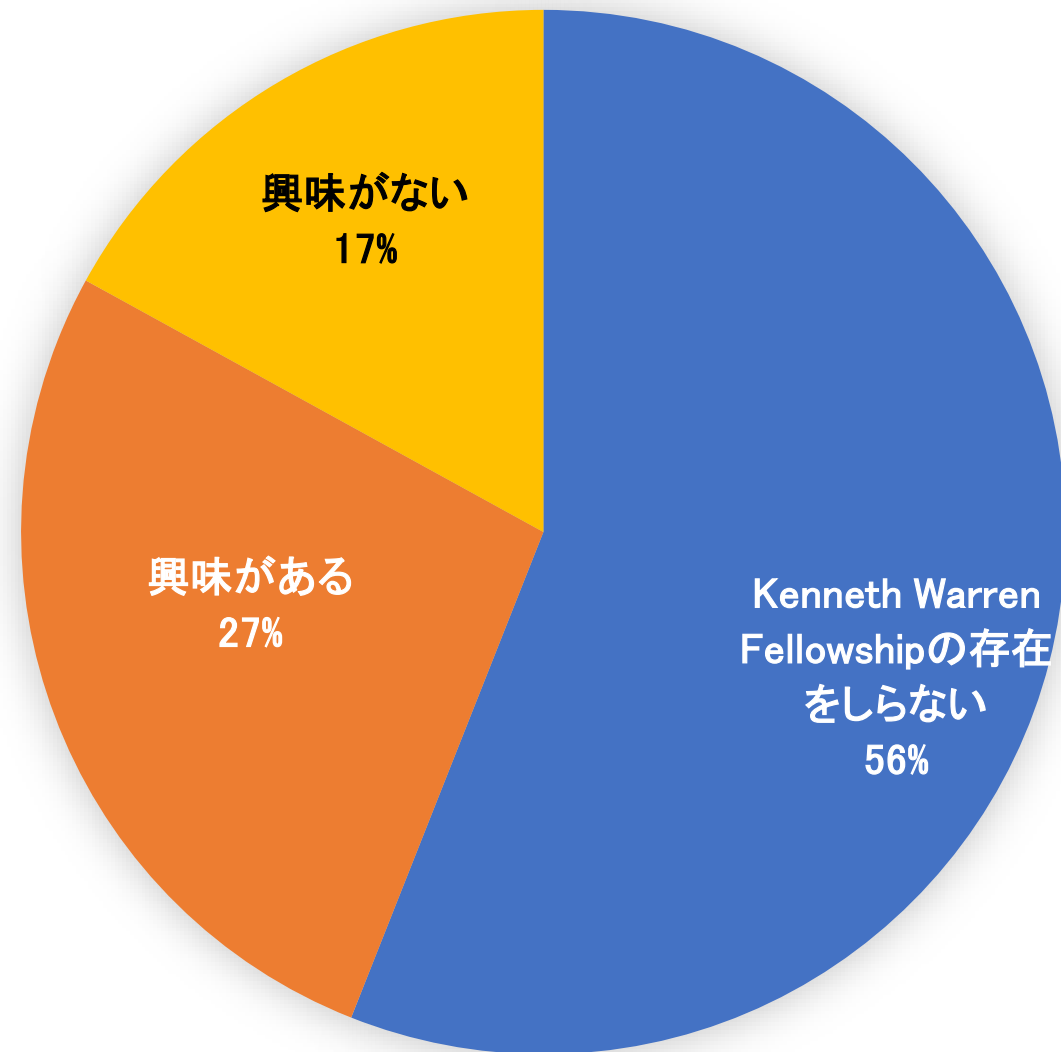
#### 4. 肝胆膵外科学会で若手枠のプロジェクト研究があれば応募してみたいですか？



## 5. 留学経験について(複数回答可)

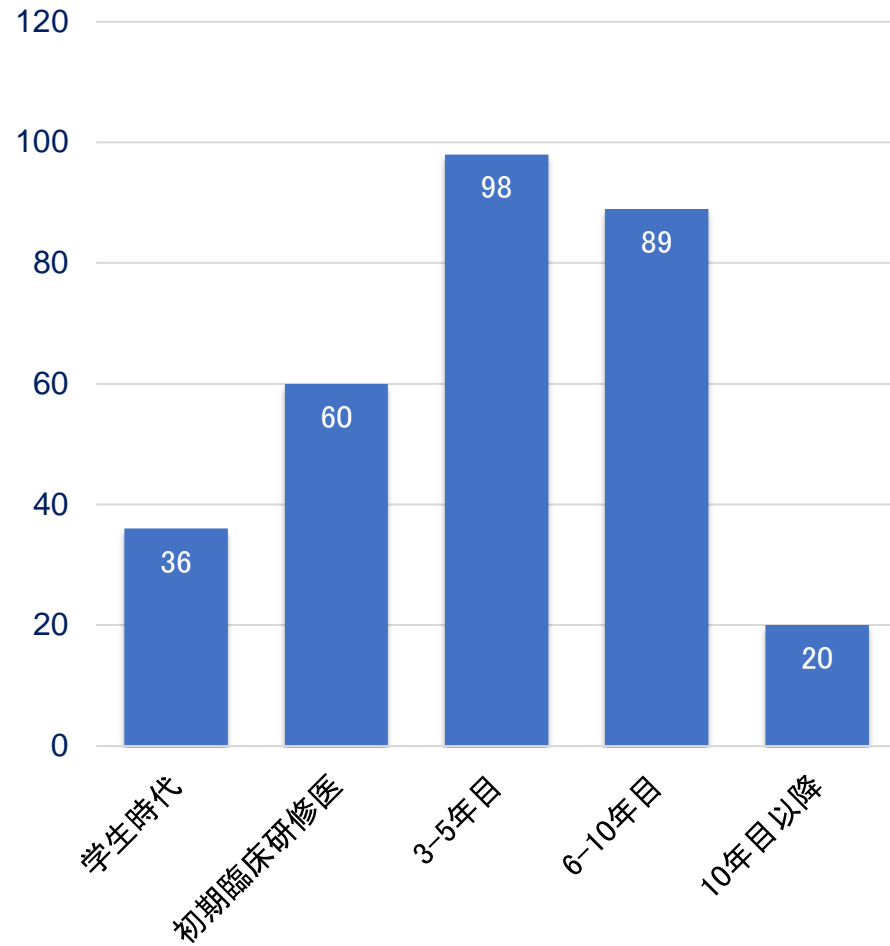


## 6. IHPBAにKenneth Warren Fellowshipがありますが、興味がありますか？

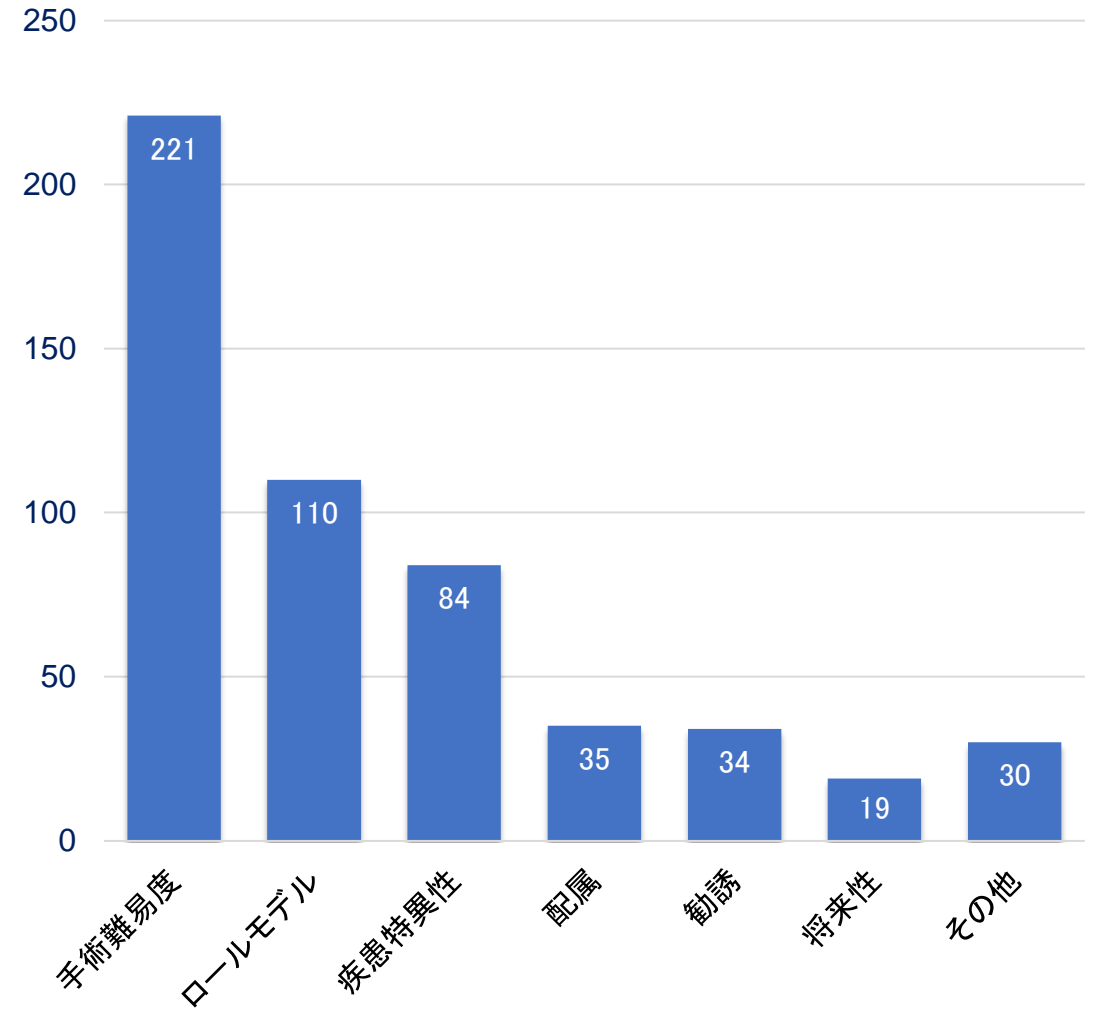


## D. 肝胆膵外科医リクルートに関する調査

## 1. 進路決定時期



## 2. 進路決定の動機

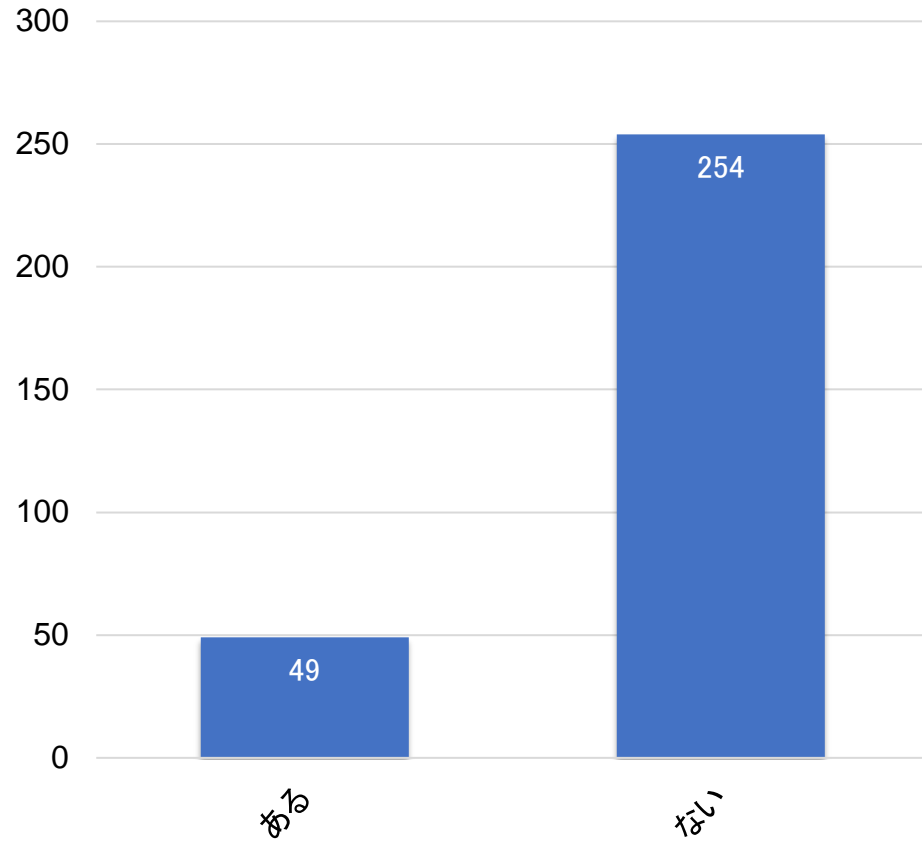


\*その他(代表例)  
移植医療をやりたいから  
汎用性が高いから

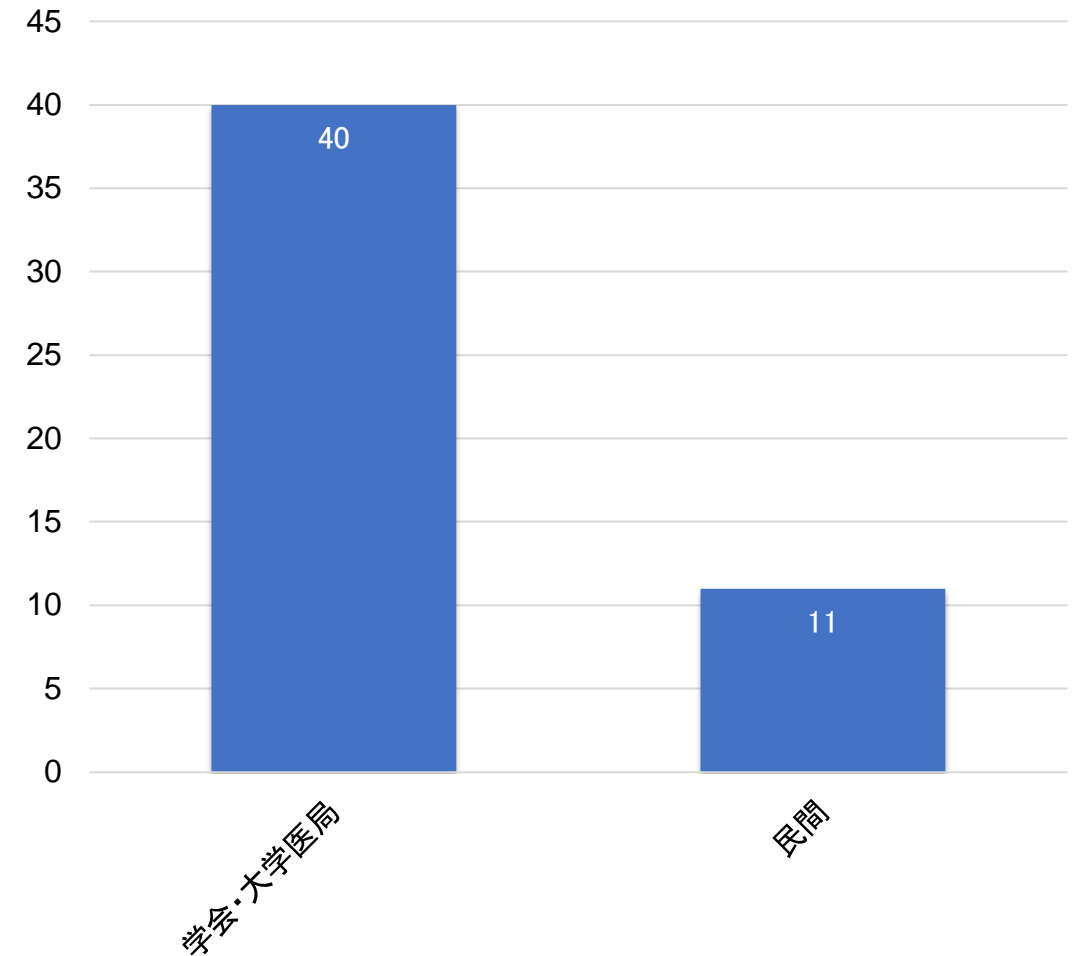
など



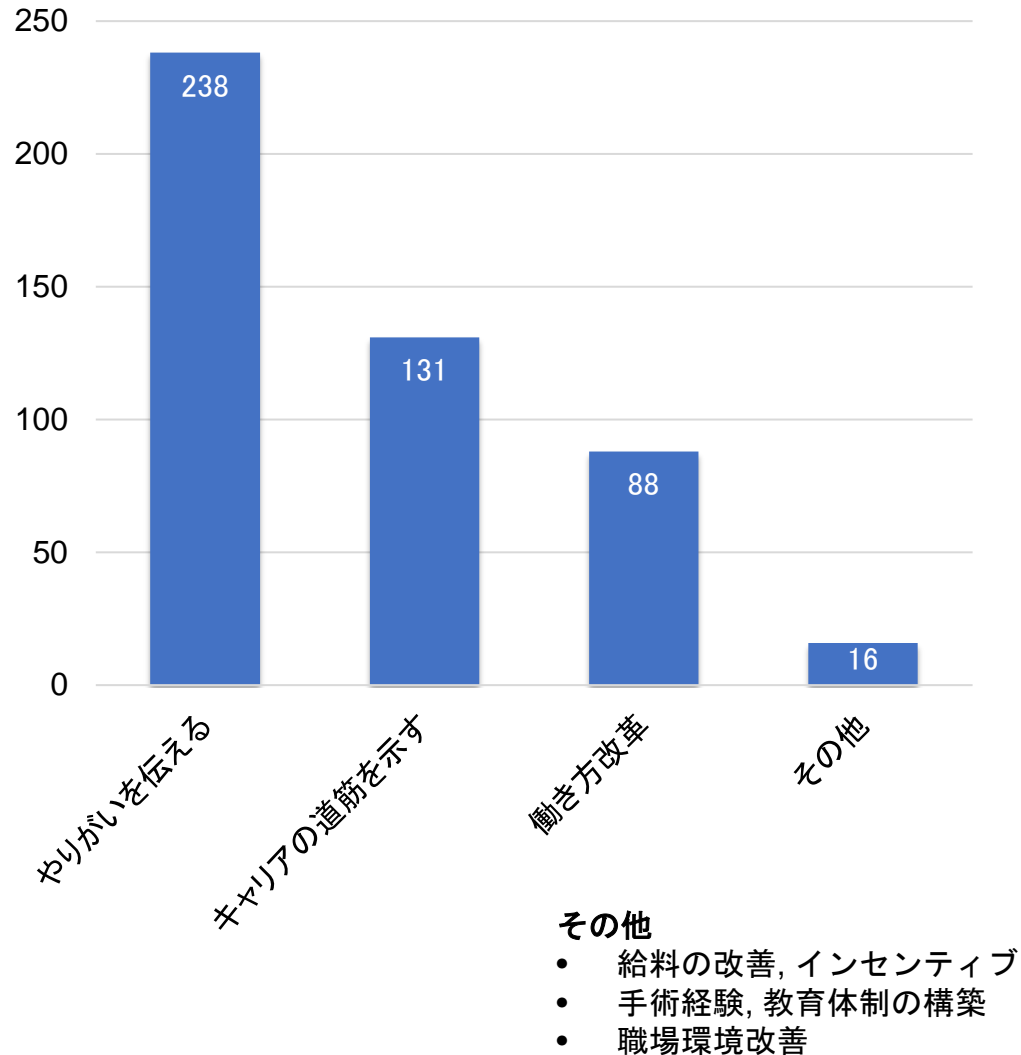
### 3. 入局進路決定に際して利用した、 WebサイトやSNSの有無



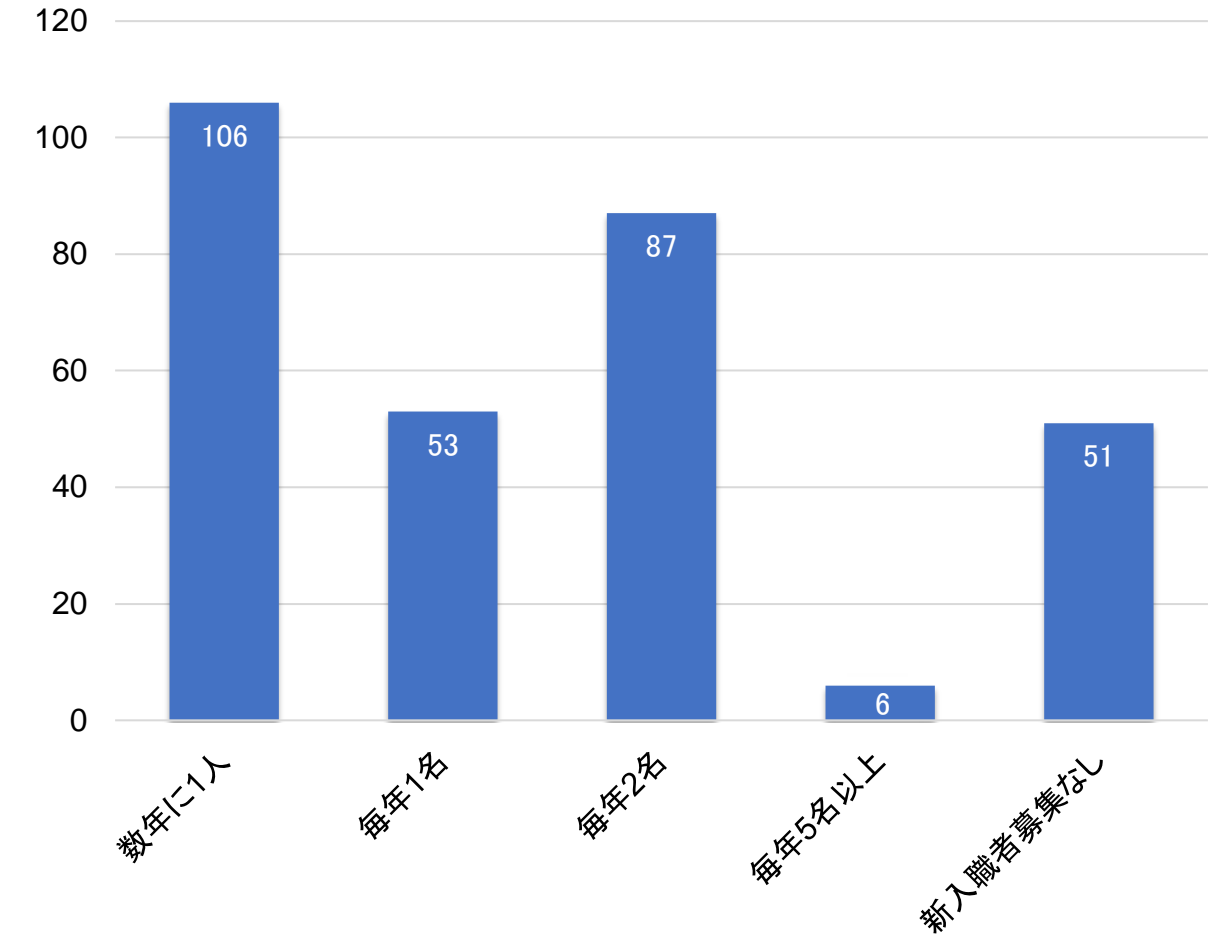
### 4. ある場合、どのような媒体か.



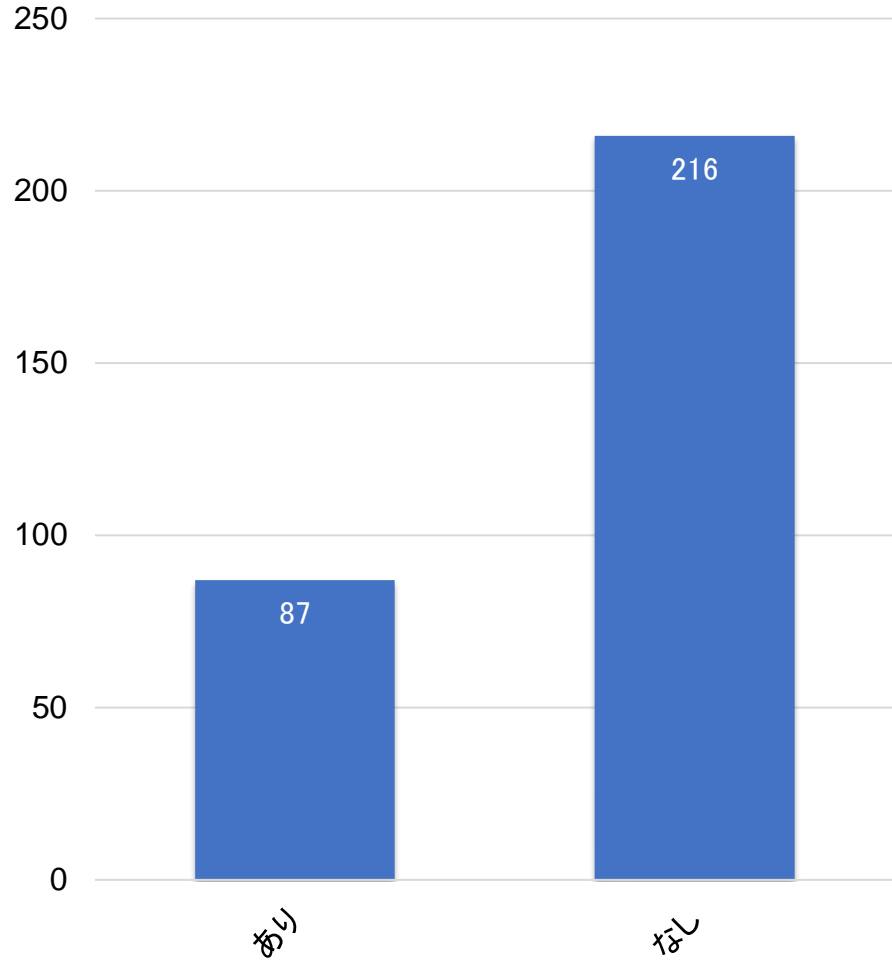
## 5. 若手リクルートのために必要なもの



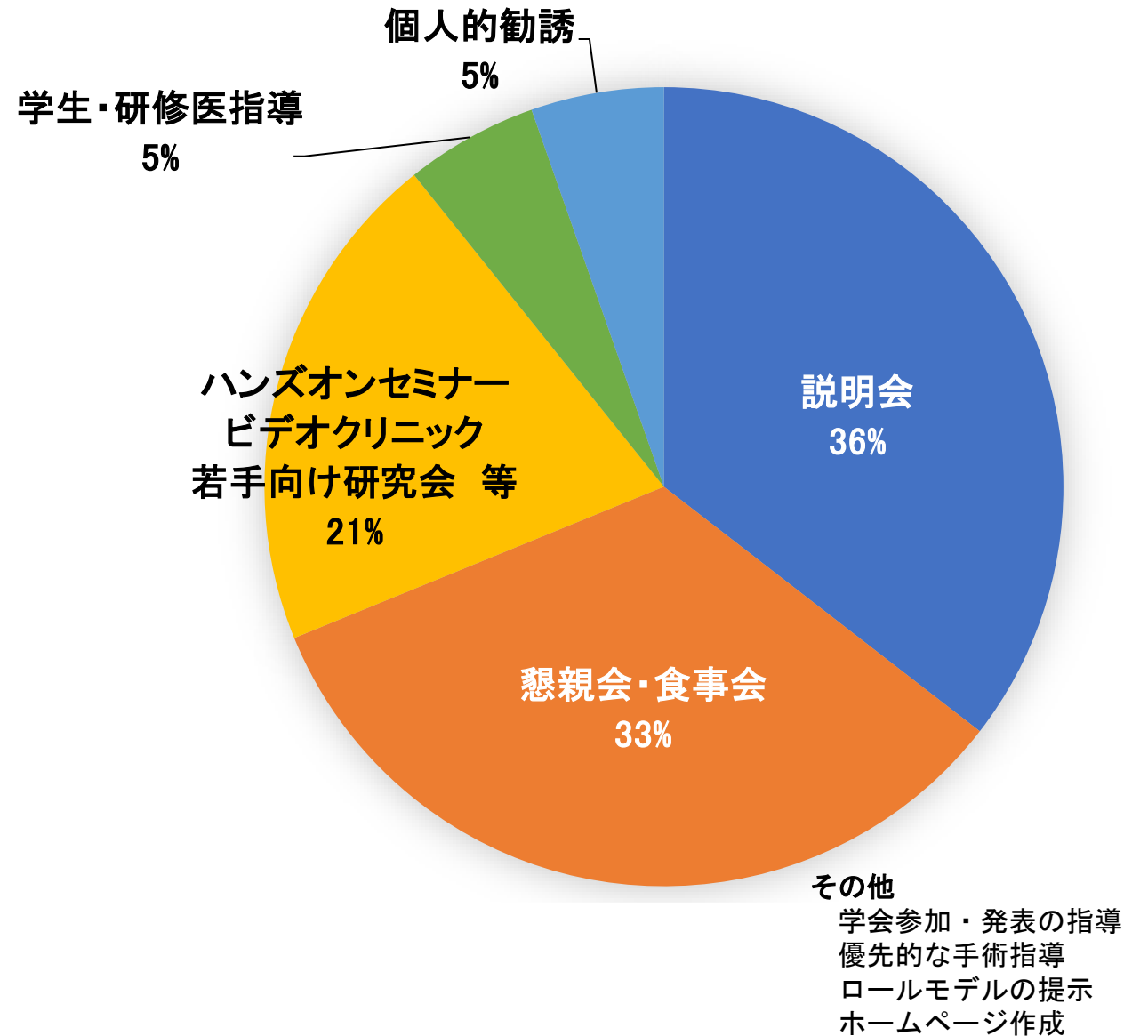
## 6. 所属施設における肝胆膵外科新入職者数



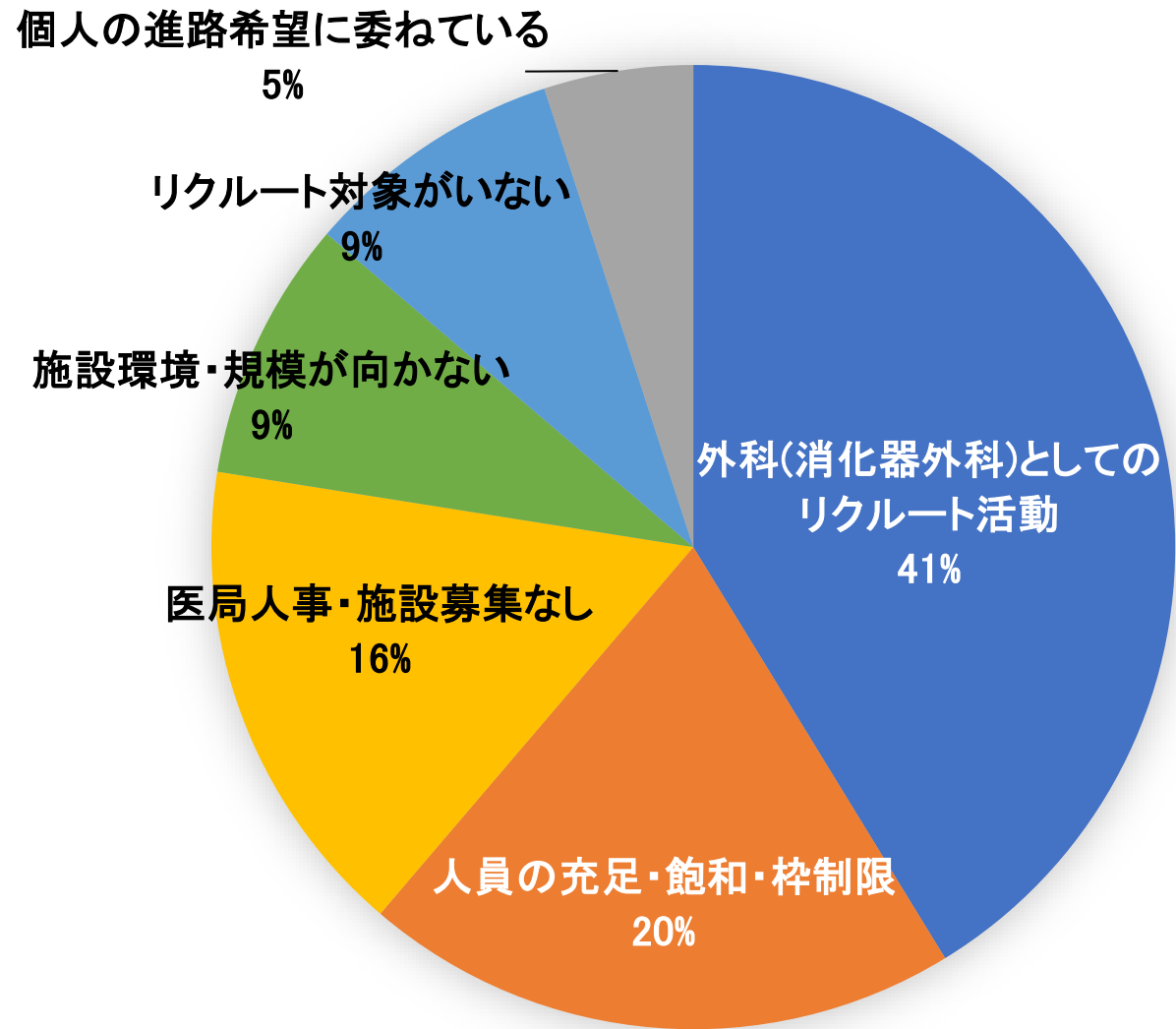
## 7. 肝胆膵外科独自のリクルート活動の有無



## 8. リクルート活動内容(重複回答含む)

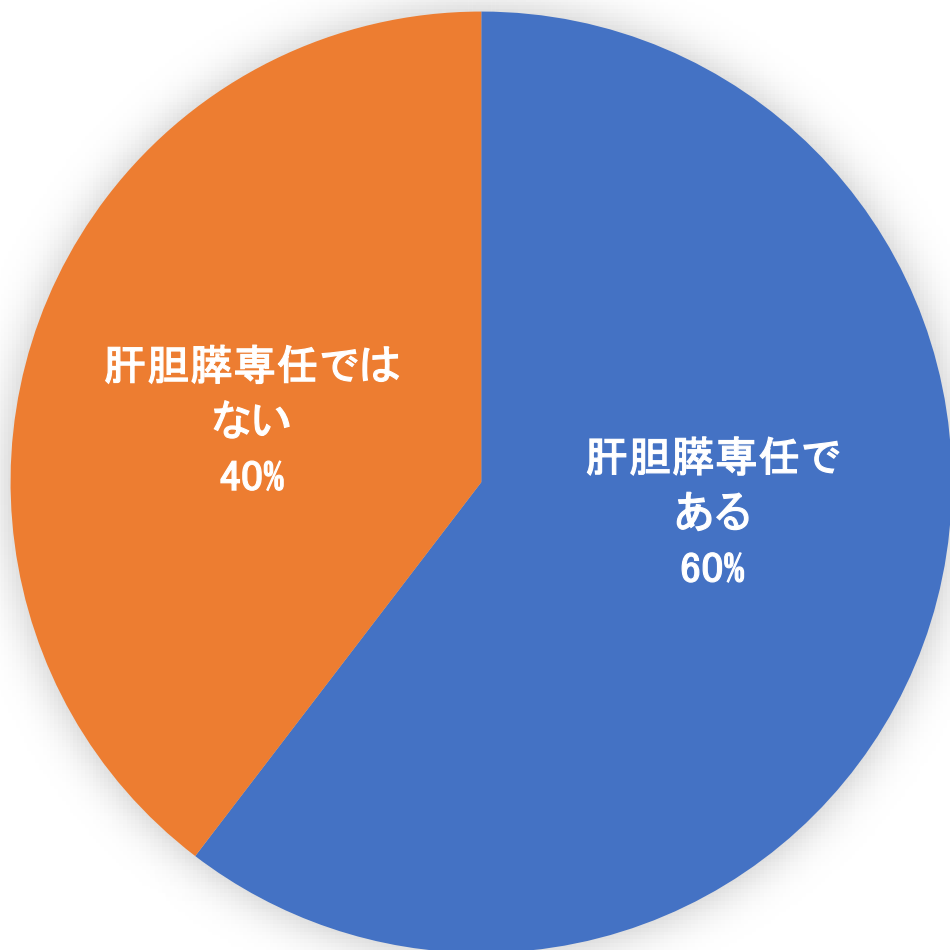


## 9. 肝胆膵外科独自のリクルート活動をしていない理由



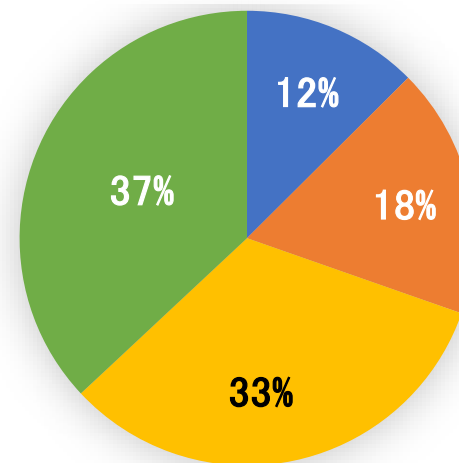
# E. 肝胆膵外科医働き方改革・ ダイバーシティに関する調査

# 1. 所属科について



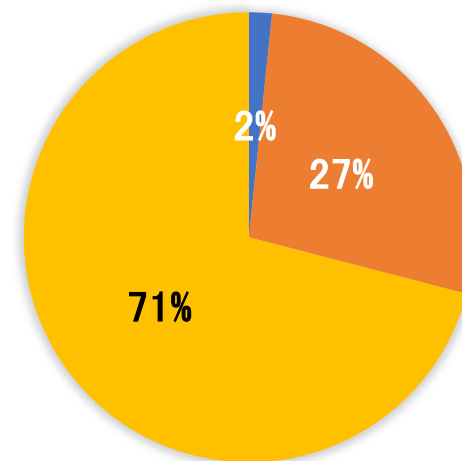
## 肝胆膵外科スタッフ数

■ 10名以上 ■ 7名から9名 ■ 4名から6名 ■ 1名から3名



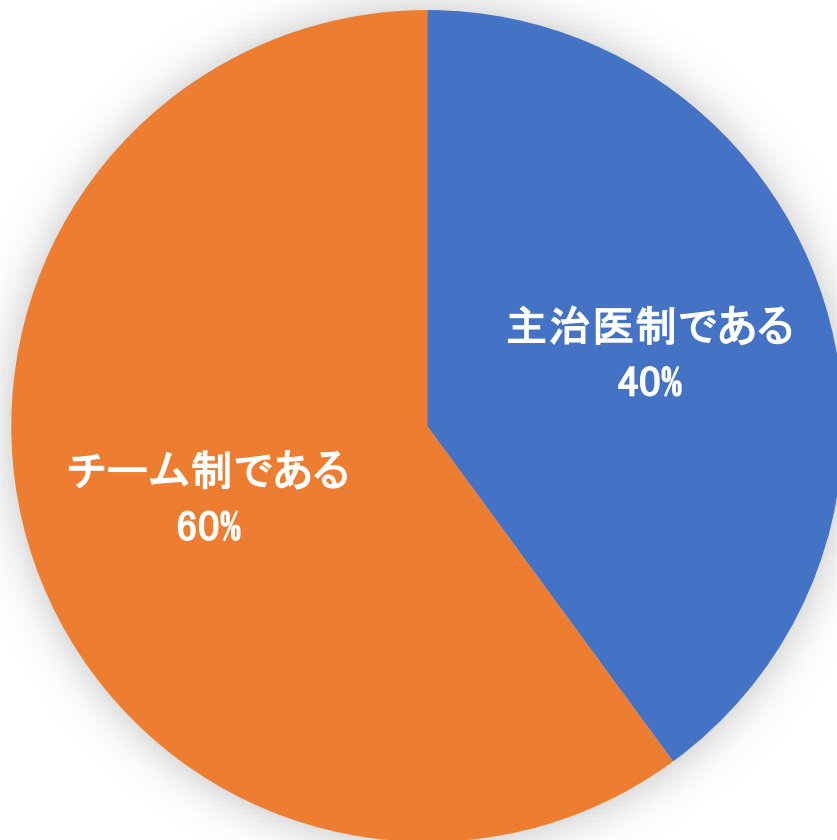
## 女性肝胆膵スタッフ数

■ 3名以上 ■ 1名から2名 ■ 0名

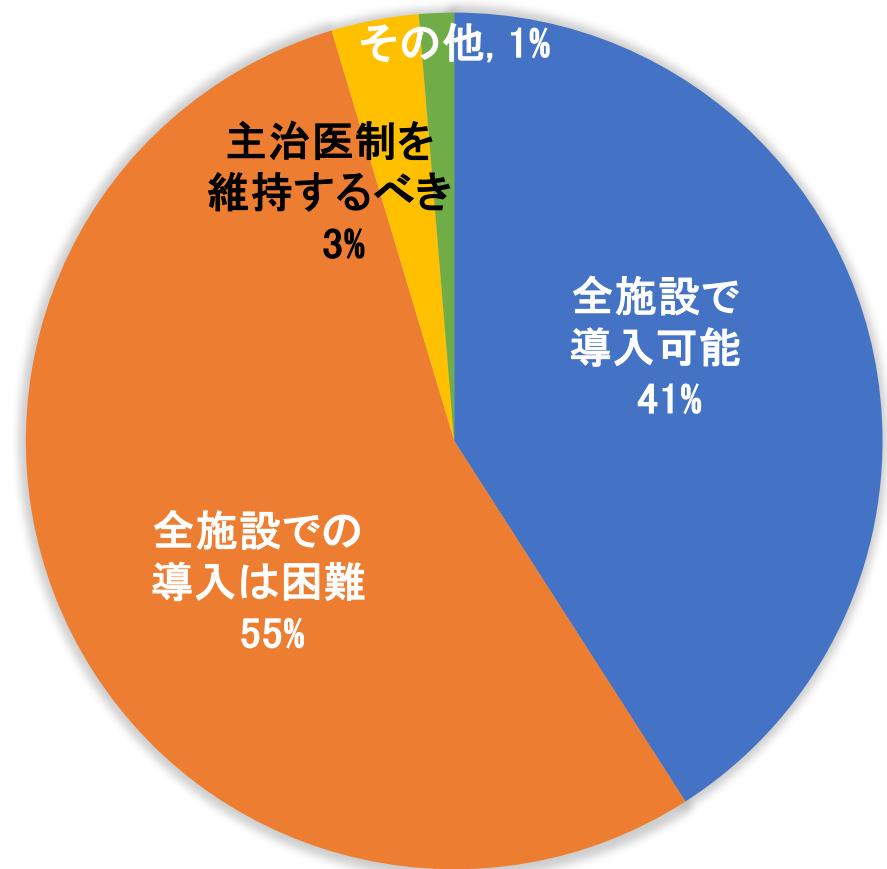


## 2. 所属科の診療体制

科の診療体制

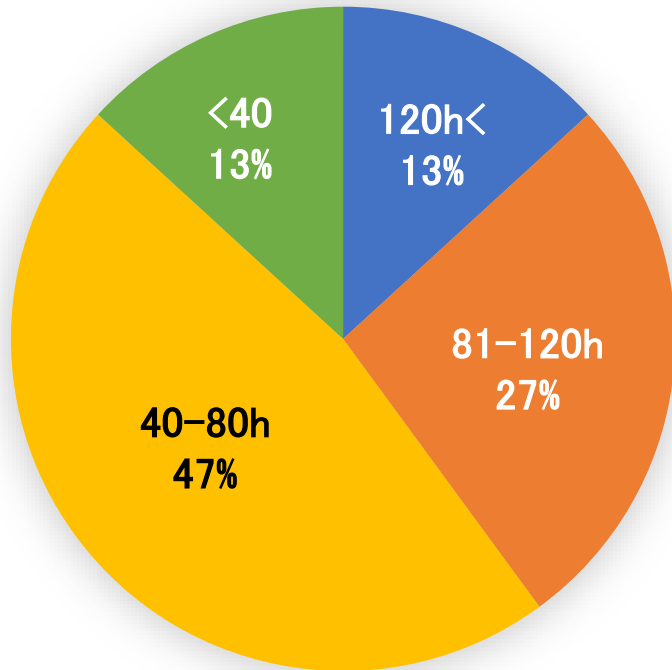


チーム制に対する意見



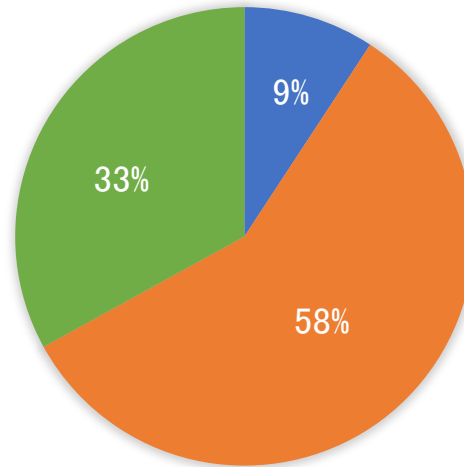
## 2. 所属科の診療体制

### 1か月の残業時間



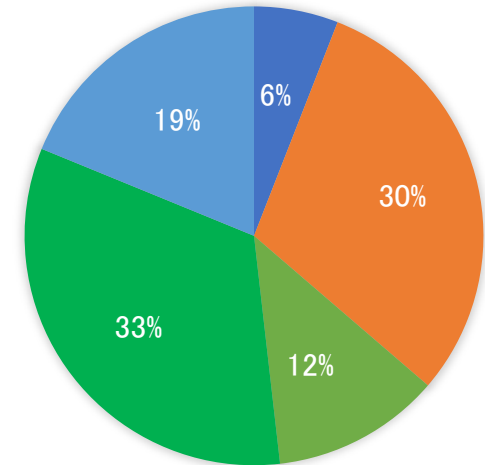
### 月あたりの完全休日数

■ 5日以上 ■ 2日から4日 ■ 0日から1日



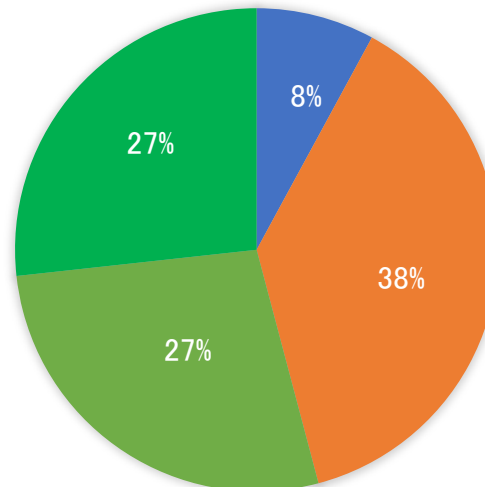
### 当直回数/月

■ なし ■ 5回以上/月 ■ 4回/月 ■ 2回から3回/月 ■ 1回/月  
\* 他施設での当直アルバイトを含む



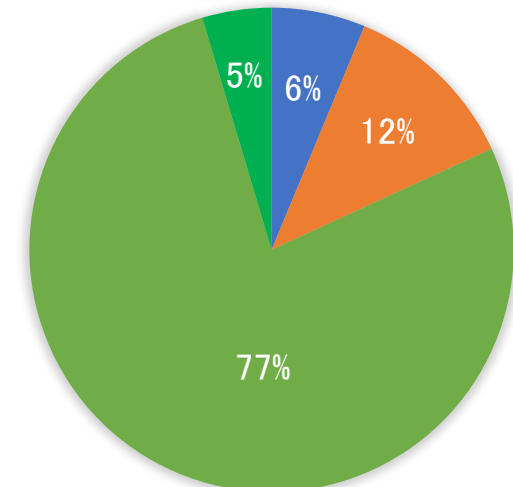
### 年間の年休取得数

■ 11日以上 ■ 6日から10日 ■ 5日 ■ 0日から4日



### 当直明けの業務

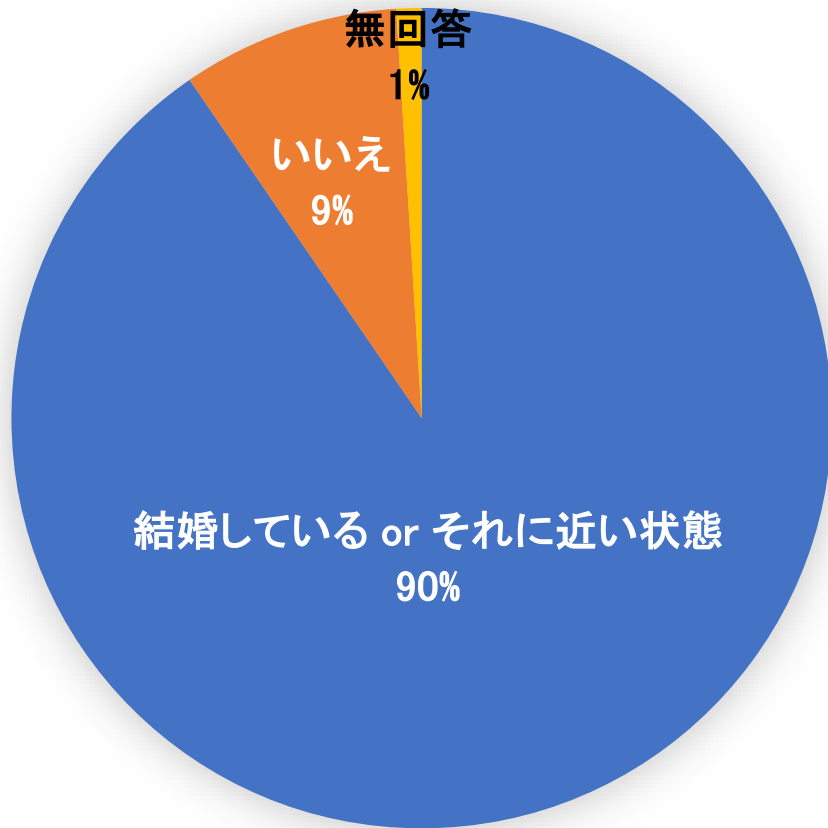
■ 翌朝帰宅 ■ 半休 ■ 通常業務 ■ 手術免除





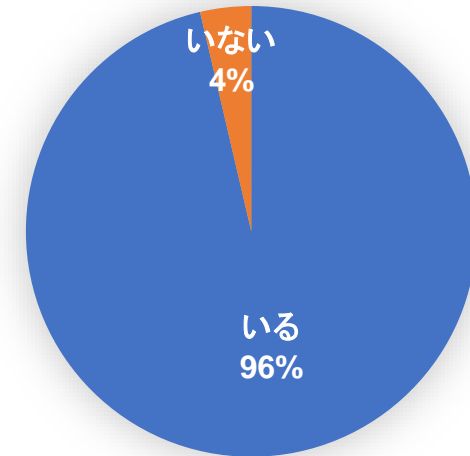
### 3. 私生活について

パートナーの有無

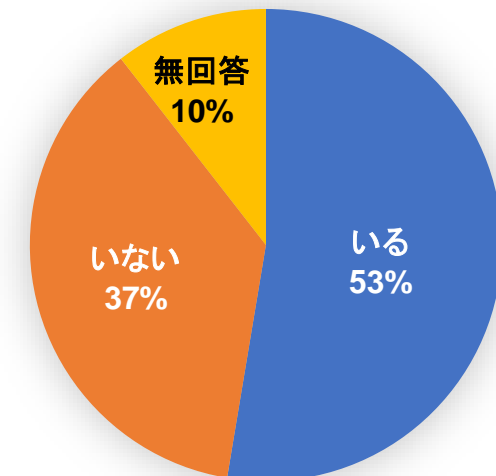


男女別パートナーの有無

男性

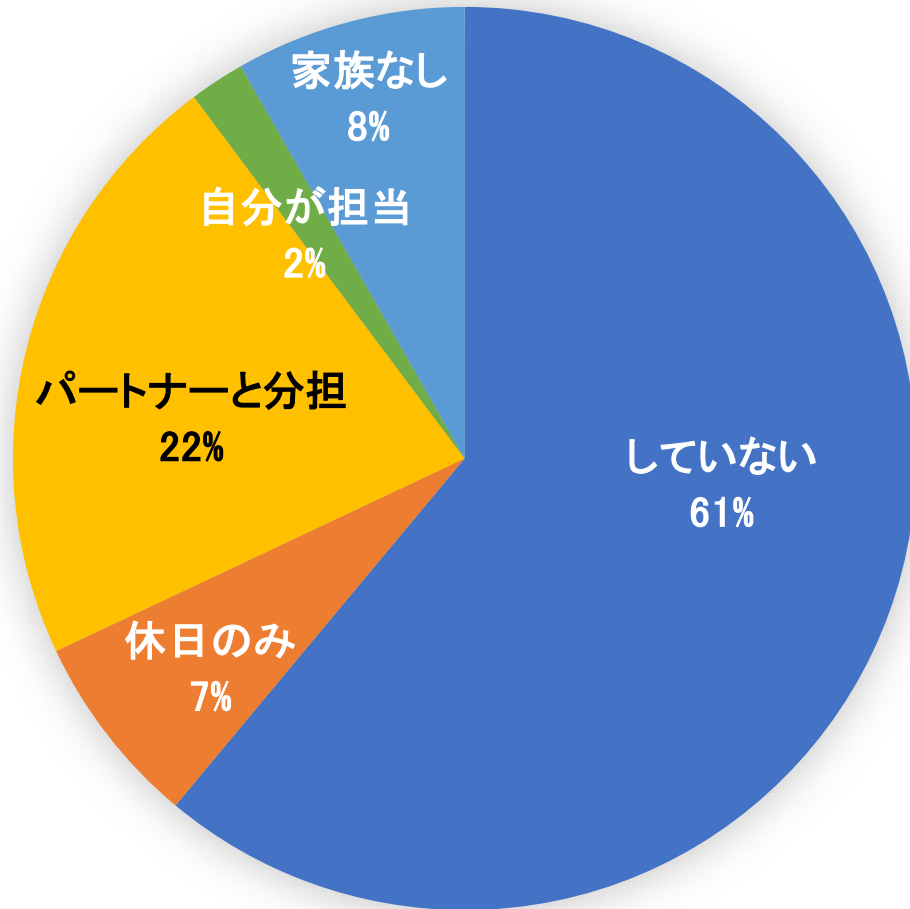


女性



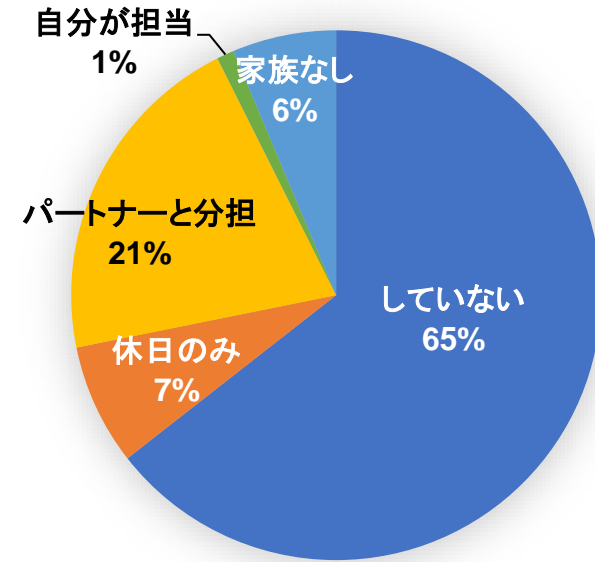
### 3. 私生活について

家庭での家事負担

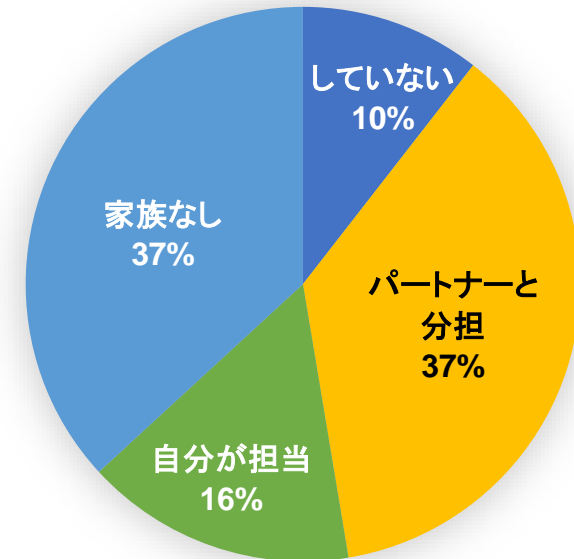


男女別家庭での家事負担

男性



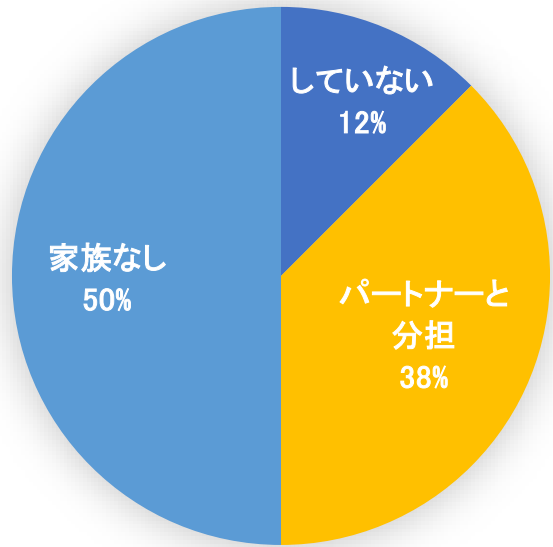
女性



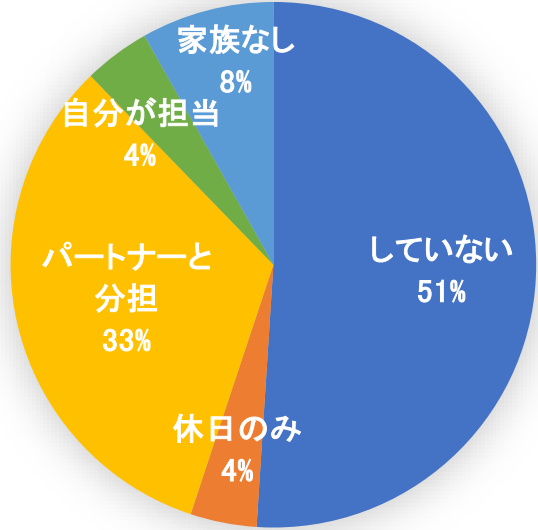
### 3. 私生活について

#### 世代別家庭での家事負担

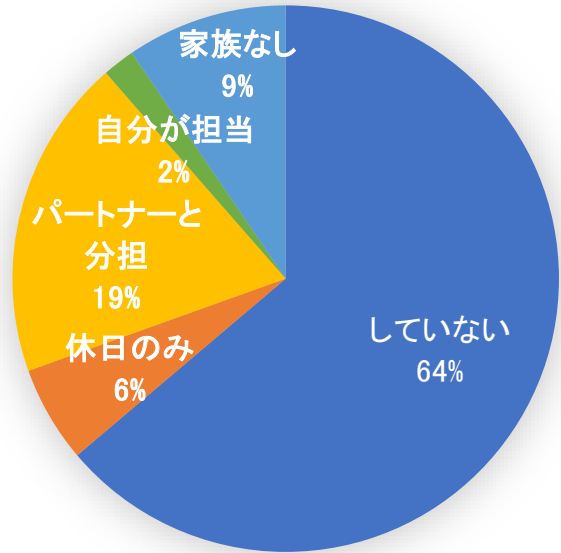
24-30歳



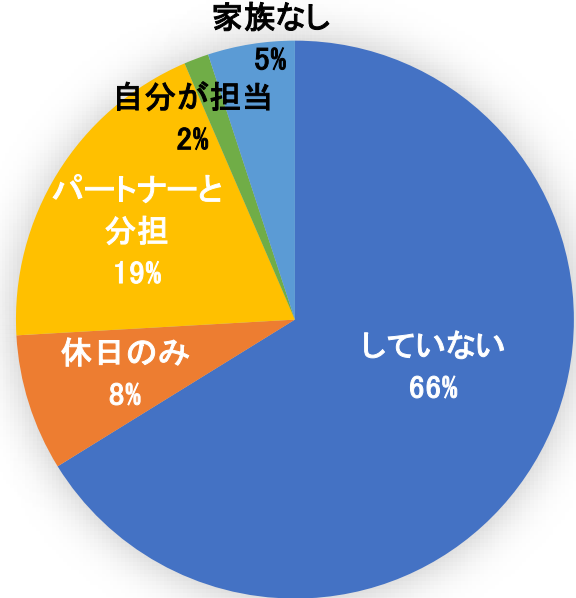
31-35歳



36-40歳



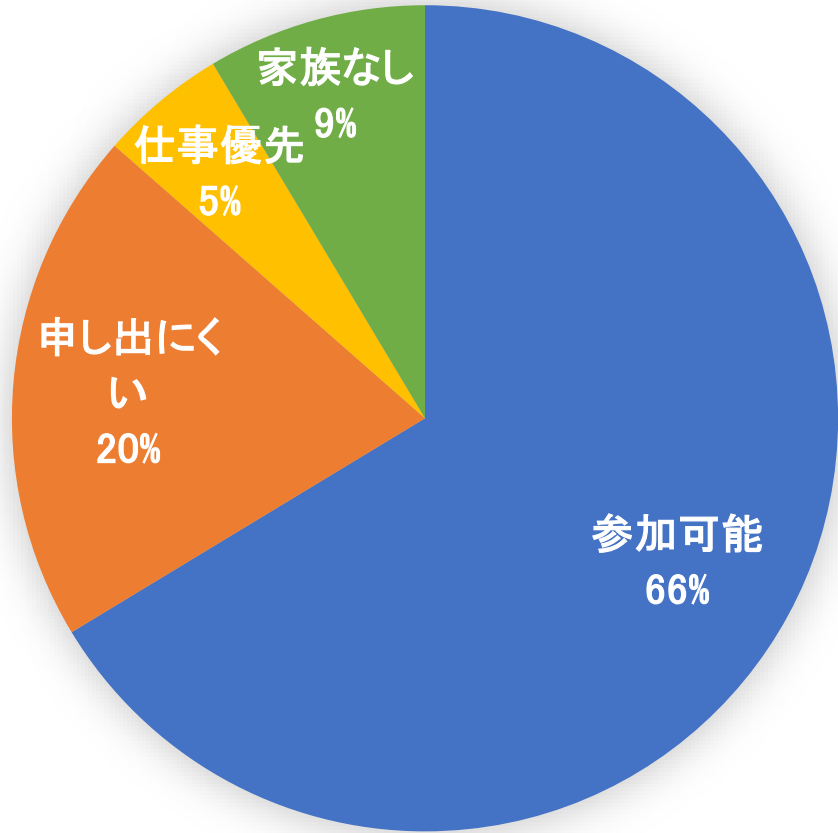
41-45歳



若い世代程家事の分担率が高い

### 3. 私生活について

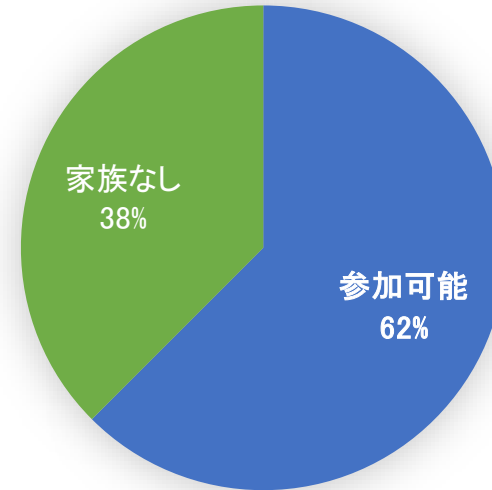
#### 家庭行事への参加



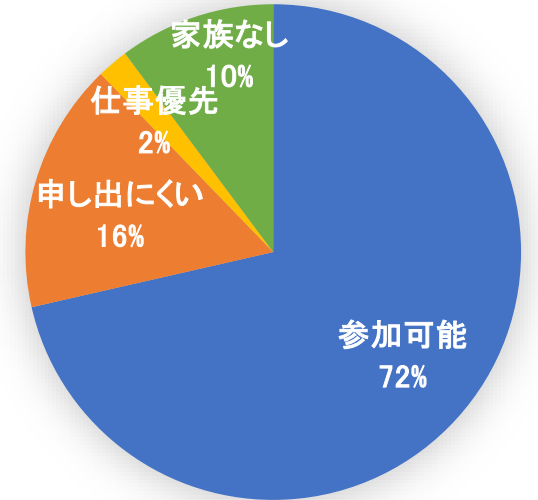
家庭行事への参加について申し出にくいという会員が20%存在する

#### 世代別家庭行事への参加

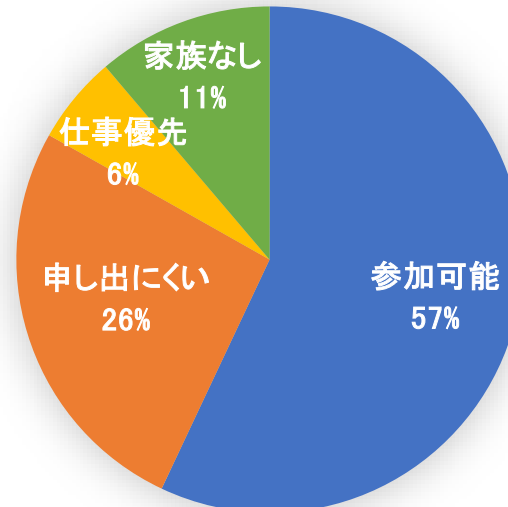
##### 24-30歳



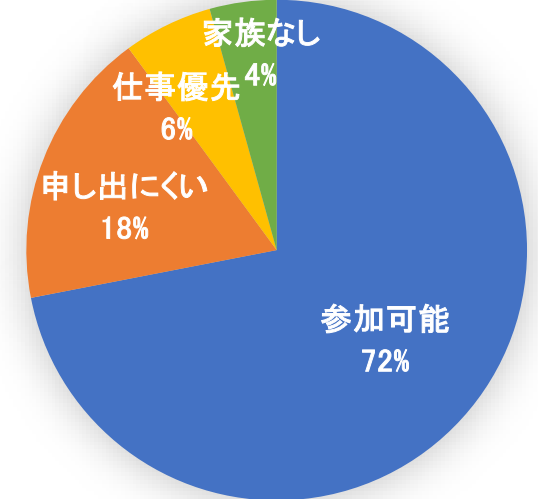
##### 31-35歳



##### 36-40歳

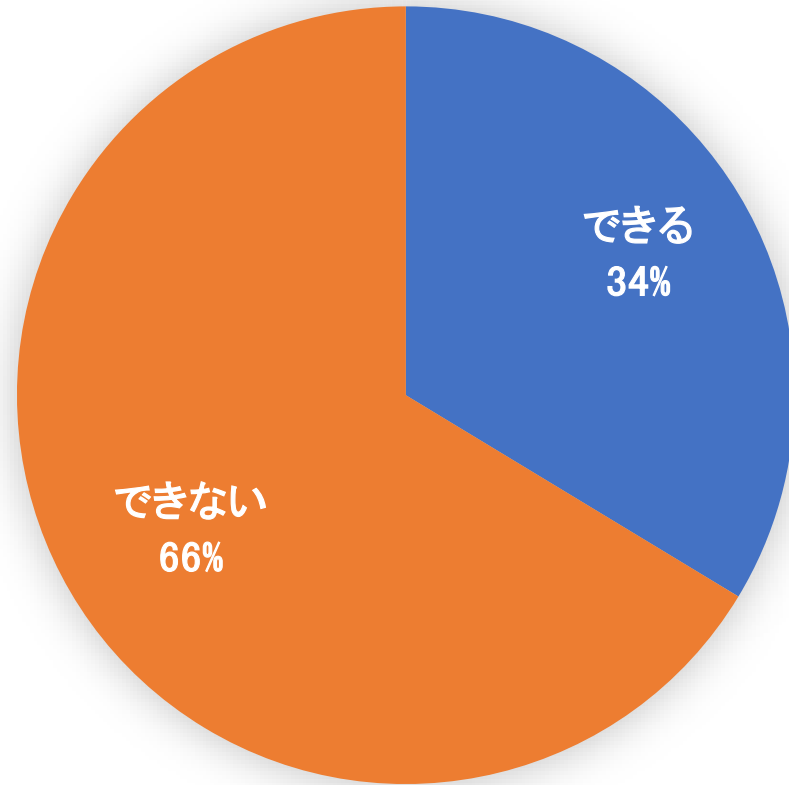


##### 41-45歳

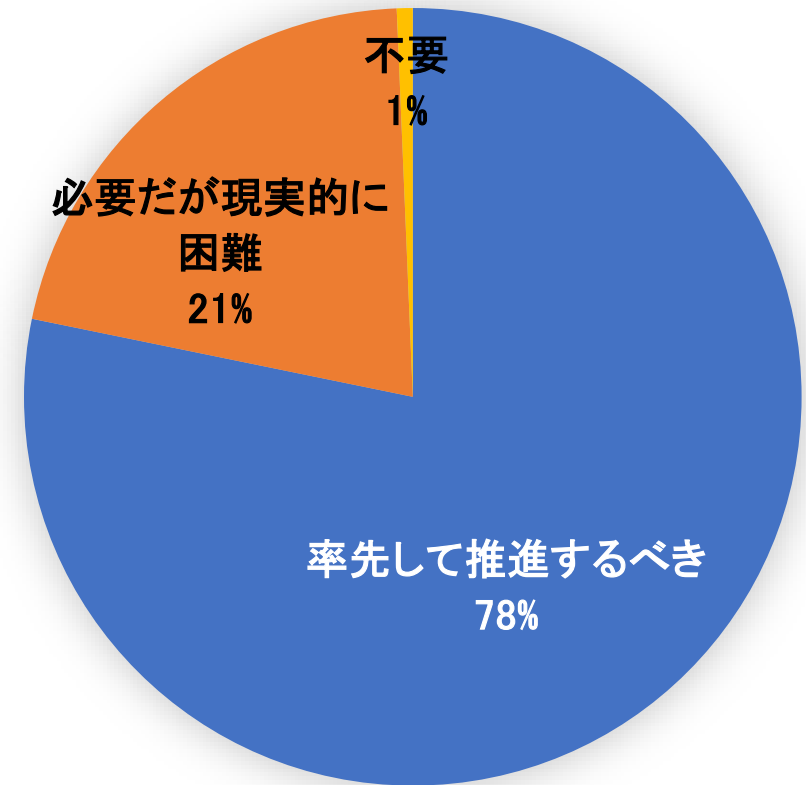


## 4. ワークライフバランスの推進について

あなたは10年後も同様の働き方ができるか



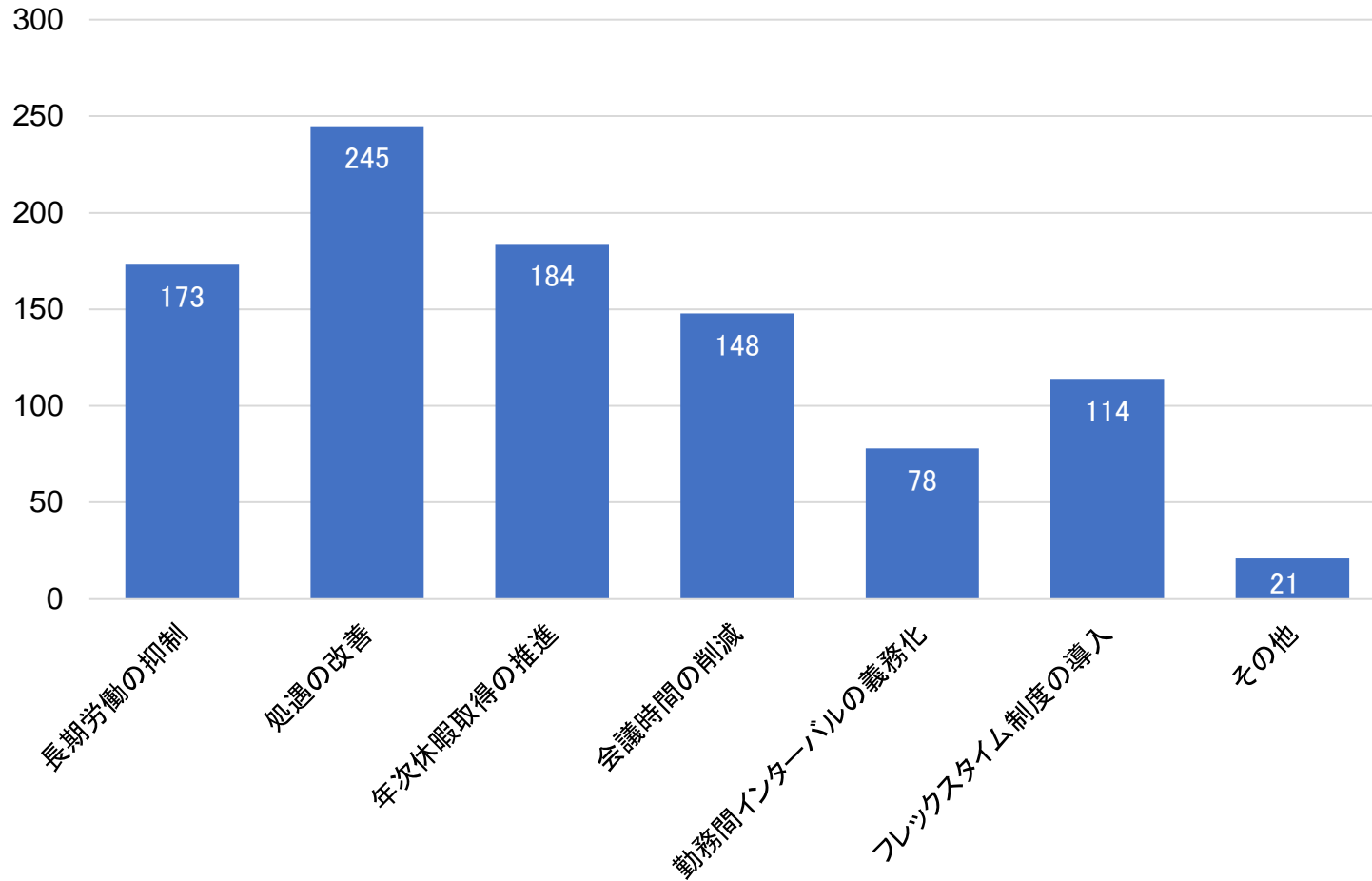
肝胆膵外科にワークライフバランスの推進は必要か



## 4. ワークライフバランスの推進について

### ワークバランスの推進に必要な取り組みとは

※複数回答



### 【ワークライフバランス推進における学会への要望】

- ✓ 各施設での勤務間インターバル確保を促す働きかけを
- ✓ 業務負担のためのタスクシフティング
- ✓ Co-medicalへの業務委託
- ✓ 勤務医の処遇改善
- ✓ チーム制・オンコール制の促進
- ✓ 産後女性医師へのキャリアサポート
- ✓ インセンティブの付与へ向けた活動

## F. その他

# 1. NGPについて: Next Generation Project

NGP委員会に期待するあなたの興味のある活動は

